※発注品の「型式・材質・納期・仕様書記載品以外の同等品認定・その他の内容」等について疑義がある場合は、事前に仕様書記載の担当課へ直接問い合わせること(但し、担当者が一時不在や施設により平日閉庁の場合があるので注意すること)。
担当課の事前承認なき場合は、仕様書記載どおりに履行すること。
見積時の質疑・同等品認定、随意契約伺への無承認事項の記載、落札後の条件変更等は認めない。



# 購入仕様書

件　　名　　防寒衣(A型)

履行場所　　消防局本部及び7消防署

履行期間　　契約締結の日から 令和9年3月31日まで

内　訳

| | 品　名 | 規　格 | 単位 | 数量 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 防寒衣(A型) | 消防局仕様のとおり | 着 | 98 | 納入は署毎に分け、各署へ直接納入するものとし、サイズ内訳及びその他の必要事項については、後日指示する。 |

(問い合わせ先)
福岡市中央区舞鶴3丁目9番7号
消防局　総務部　職員課
担当:宮本
電話:092-725-6535

発注番号　2026014726

# 防寒衣（A型）仕様書

福岡市消防局

# 防寒衣（A型）仕様書

1．使用材料

1）生地一般

ア．原反は糸むら・織りムラなどのない良質なものを使用する。

イ．織り上がりは均一で、織キズ・糸節・汚れなどのない良質なものを使用する。

2）材料

ア．生地規格（参考）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 品　名 | エコストーム ミニダイヤリップ | | |
| 品　番 | Ｓ８２７８６ | | |
| C/# | ＮＶＹ、ＯＲＧ | | |
| 規　格 | １４２㎝－５０ｍ | | |
| 混　率 | ポリエステル１００％（ラミネート加工） | | |
| 糸使い | 経５６Ｄｔｅｘ（導電糸　約１㎝ピッチ入り）×緯８４Ｄｔｅｘ | | |
| 密　度 | １３３×１０２／２．５４㎝間（標準） | | |
| 目　付 | １２２ｇ／$m^2$ | | |
| 堅牢度 | 項　目 | 基準値 | 備　考 |
| | 耐光 | ４級以上 | JIS-L-0842 |
| | 洗濯（変退色/汚染） | ４級以上/４級以上 | JIS-L-0844 A-2 |
| | 撥水度（初期） | ４点以上 | JIS-L-1092 ｽﾌﾟﾚｰ法 |
| | 耐水度（初期） | ２０ｋＰａ以上 | JIS-L-1092 B法 |
| | 透湿度（初期） | １５０ｇ/$m^2$・ｈ以上<br>（３６００ｇ/$m^2$・２４ｈ以上） | JIS-L-1099 A-1法 |

イ．縫い糸（表生地と同色とする）

地縫い、ステッチ糸６０番を使用する。

ウ．ドット釦

１５／１３㎜のものを使用する。

エ．芯

パンチ芯、接着芯

オ．ファスナー（表生地と同色又は同色系とする）

ＹＫＫ又はこれと同等以上のものとし、フロント・胸・脇・左前パネル下に使用する。

カ．フリーマジック（表生地と同色又は同色系とする）

フロント・袖口に使用する。

キ．蓄光パイピング

前袖シーム、後袖シーム、後ヨークに挟み付ける。

ク．シームテープ

縫い目に貼って使用する。

ケ．ドローコード（３㎜）

ストッパーリング、ストッパーハドメなどを使ってウエスト部分・裾に付ける。

コ．平ゴム（４．５㎝巾）

袖口に使用する。

２．形状

スタンドカラー防寒ショートコート型とし、ポケットは５個、内ポケットを２個、左腕部にペン刺し１個を取り付け、前袖シーム・後袖シーム・後ヨークに蓄光反射パイピングを取り付ける。本体は指定色とし、フロントパネル裏、胸ふらし部分、袖口三角形部分はオレンジ色地（副生地）で配色を施す。

３．縫製

１）衿

スタンドカラーで、内側にトリコット素材を使用し、首周りの防寒性を高める。

衿にフード取り外し用のドット釦を取り付ける。

２）前身頃

前開きは衿先から裾までのオープンファスナー開きとする。

３）左右内ポケット

片縁ポケットとし、周囲をコバステッチの飾り縫いをする。

４）胸ポケット

水が浸入しにくいように裾からのふらしの中に、ファスナー（１４cm）のポケットを付ける。

胸ふらし部分に三角形のオレンジ色地で配色を施し、視認性を高める。

周囲をコバステッチの飾り縫いをする。

５）脇ポケット

水が浸入しにくいように裾からのふらしの中に、ファスナー（１６cm）のポケットを付ける。

周囲をコバステッチの飾り縫いをする。

６）胸パネル下ポケット

左前身頃のフロントパネル下にファスナー（１６cm）のポケットを付ける。

周囲をコバステッチの飾り縫いをする。

７）フロントパネル

衿から裾まで続きで、下にドット釦と他の生地を傷めないためのフリーマジックテープを付ける。

８）蓄光パイピング

視認性を高めるために、袖の前側シーム、後ヨークと袖の後側のシームに挟み込みする。

９）シームテープ仕様

縫製可能なシームの部分に防水テープを貼り、素材と縫製の両面から防水効果を高める。

１０）裾、ウエスト部分

ドローコードを入れることによって、サイズを調整出来るようにし、フィット感・保温性をより高める。

１１）袖、カフス

カフス巾５cm で平ゴムと袖口のタブにフリーマジックを付けて調節可能にする。

平ゴム部分の中に２本、ステッチを入れる。

１２）ペン挿し

７×１５cmのペン挿しを左袖のみ付け、周囲をコバステッチで飾り縫いをする。

１３）片布

左内ポケット口より３cm下、中央に付ける。

１４）衿吊、サイズネーム

衿吊は後衿中心に挟み込み、サイズネームは衿吊に叩きつける。

１５）品質表示

左前裏の前身と後身のシームで裾から１２cmの位置に付ける。

4．サイズ

| サイズ | 胸　囲 | 裾　囲 | 肩　幅 | 着　丈 | 袖　丈 |
|---|---|---|---|---|---|
| S | １２０ | １１２ | ５０ | ７２ | ５５ |
| M | １２５ | １１７ | ５２ | ７６ | ５７ |
| L | １３０ | １２２ | ５４ | ８０ | ５９ |
| ＬＬ | １３５ | １２７ | ５６ | ８４ | ６１ |
| ３Ｌ | １４０ | １３２ | ５８ | ８８ | ６３ |
| ４Ｌ | １５０ | １４２ | ６２ | ９２ | ６３ |
| ５Ｌ | １６０ | １５２ | ６２ | ９２ | ６３ |

5．文字加工

1）背ヨーク部分及び後身頃に別図に示す文字を入れる。

2）文字加工はガラスビーズによる反射タイプとし、熱転写による圧着とする。

3）文字の地色は黄、縁の色は赤とする。

6．検査

1）中間検査

試作品を提示し検査を受けること。その際、繊維会社、特約店等の出荷証明書を提出すること。

2）納品検査

別途指示する方法による。

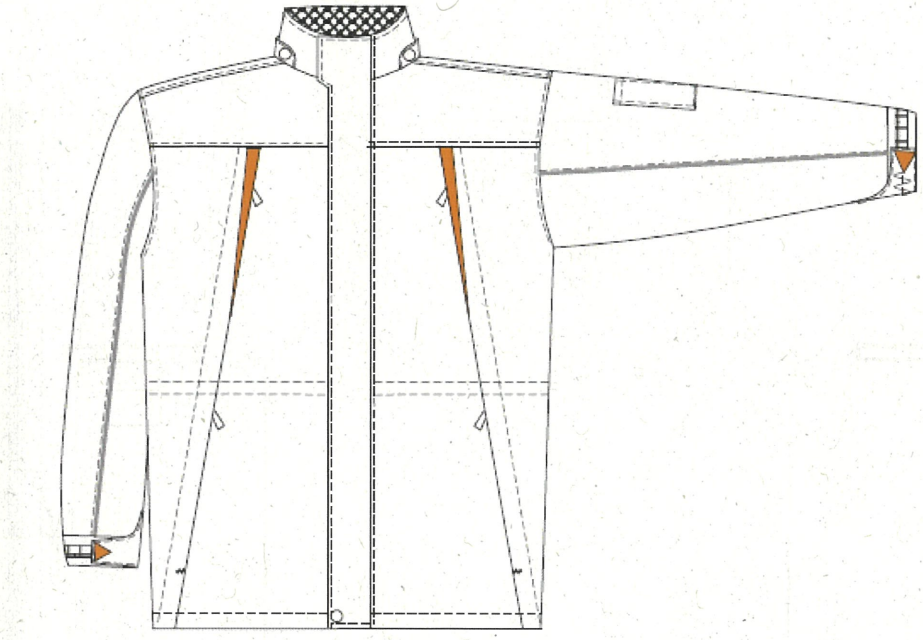
7．納品

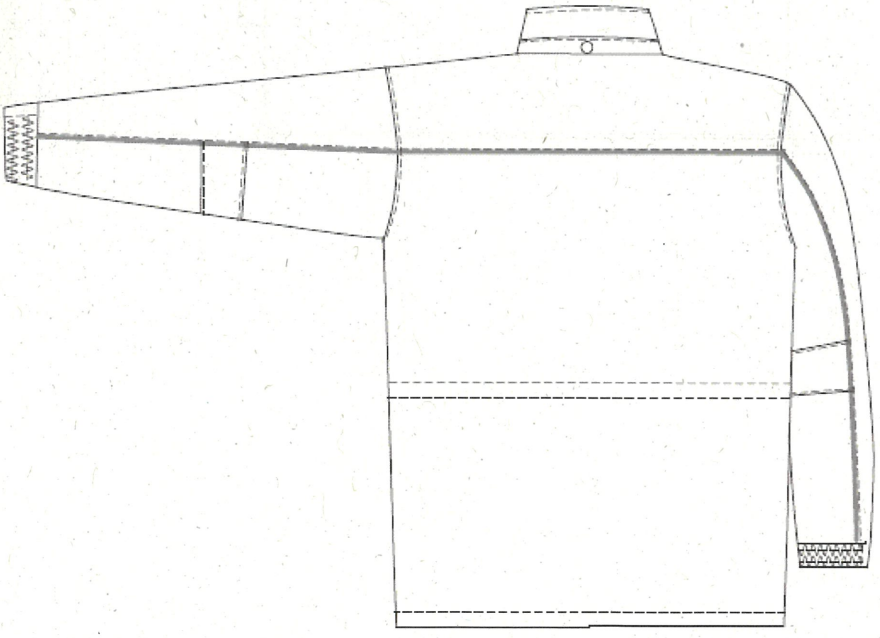
完成品は１着毎に袋に入れ、所属、氏名が分かるようにシール等を貼り付けるとともに、係員の指示に従い所属別に納品すること。

8．その他

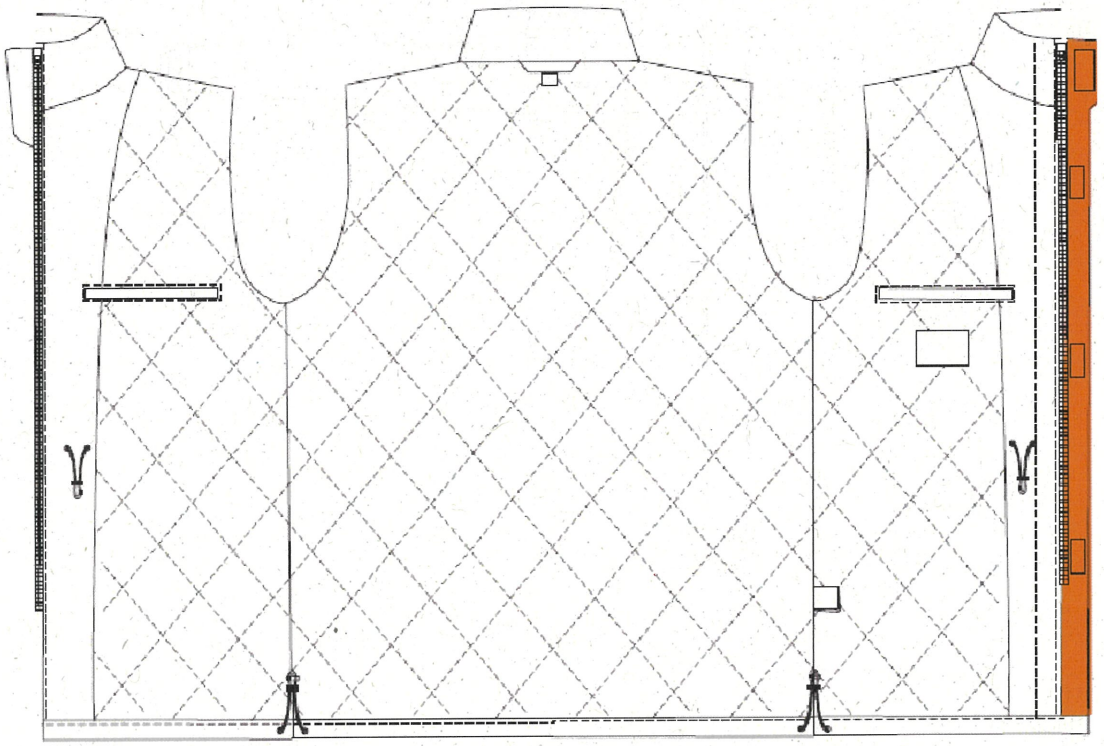
仕様書の疑義及び詳細については、事前に当局と協議するものとし、その指示に従うこと。

# 表仕様





# 裏仕様



実寸



※発注品の「型式・材質・納期・仕様書記載品以外の同等品認定・その他の内容」等について疑義がある場合は、事前に仕様書記載の担当課へ直接問い合わせること(但し、担当者が一時不在や施設により平日閉庁の場合があるので注意すること)。
担当課の事前承認なき場合は、仕様書記載どおりに履行すること。
見積時の質疑・同等品認定、随意契約伺への無承認事項の記載、落札後の条件変更等は認めない。

2

# 購入仕様書

件名　　消防音楽隊制服（夏服）　外８件
履行場所　消防局総務部総務課
履行期間　契約締結の日から令和９年３月31日まで

内　　訳

| | 品　名 | 規　格 | 単位 | 数量 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 消防音楽隊制服（夏服） | 仕様書のとおり（上衣） | 着 | 2 | 要採寸 |
| 2 | 消防音楽隊制服（夏服） | 仕様書のとおり（ズボン） | 着 | 1 | 要採寸 |
| 3 | 消防音楽隊制服（冬服） | 仕様書のとおり（上衣） | 着 | 3 | 要採寸 |
| 4 | 消防音楽隊制服（冬服） | 仕様書のとおり（ズボン） | 着 | 1 | 要採寸 |
| 5 | 消防音楽隊制服（盛夏上衣） | 仕様書のとおり | 着 | 1 | 要採寸 |
| 6 | 消防音楽隊制服（盛夏ズボン） | 仕様書のとおり | 着 | 2 | 要採寸 |
| 7 | 消防音楽隊制服（赤上衣） | 仕様書のとおり | 着 | 2 | 要採寸 |
| 8 | 消防音楽隊制帽（夏用） | 仕様書のとおり（夏用） | 個 | 2 | 要採寸 |
| 9 | 消防音楽隊制帽（冬用） | 仕様書のとおり（冬用） | 個 | 2 | 要採寸 |

※契約後、下記担当者と打ち合わせること。
※採寸は、契約後に博多消防署４階消防音楽隊訓練室で行う。

■問い合わせ先
福岡市中央区舞鶴３丁目９番７号
消防局総務部総務課
担当：小川、上田
電話：092-725-6519

発注番号　2026014612

# 仕様書

# 消防音楽隊制服　（夏服）

福岡市消防局

1. 概要

（1）上衣

型式：シングル（加工芯仕立て）

襟：標準型

袖：筒型、袖章付、2枚袖

飾りステッチ：幅0.3cm、台襟、フロントポケット

胸ポケット：雨蓋ポケット（左右）

腰ポケット：片玉フラップ付

前釦：4個釦

ベンツ：なし

内ポケット：左右、片玉縁

裏仕様：背抜き仕立て

ループ：4本

（2）ズボン

脇ポケット：立てポケット（両脇）

ピスポケット：左釦付片玉（右尻）

ループ：幅1cm、8本（尻2本）

裾口：シングル

膝当：付

ウエスト：調整可能（アジャスター付き）

2. 材料

（1）上衣

| 区分 | 規格 | 用途 |
|---|---|---|
| 生地 | 1 品名　バラシャ<br>2 品番　NTC203-C/#123 又は同等色で当局の認めるもの<br>3 混紡率　毛 50%　ポリエステル 50% | 表生地、上襟<br>ポケット<br>表附属 |
| 裏地 | 1 胴裏　ビニロンレーヨン混（綾織）表地と同色系<br>2 袖裏　サベリ（キュプラ 100%） | 前身頃裏<br>袖裏 |
| 芯 | バス毛芯仕様加工芯仕立<br>エスラ#2100 又は同等の襟芯 | 前身頃増芯<br>地襟芯 |
| 袋布 | スレーキ　ポリエステル 65%　綿 35% | 袋布 |
| 肩パッド | 成型パット | 肩パット |
| 釦 | 金釦 | 前釦 |

（2）ズボン

| 区分 | 規格 | 用途 |
|---|---|---|
| 生地 | 1 品名　バラシャ<br>2 品番　NTC203-C/#123 又は同等色で当局の認めるもの<br>3 混紡率　毛 50%　ポリエステル 50% | 表生地<br>ポケット<br>表附属 |
| 縫糸 | 綿ミシン糸又はポリエステル　#50<br>縫糸　#30<br>縫糸　#50（綿カタン可） | 本縫い<br>穴かがり（鳩目穴）<br>オーバーロック |
| 釦 | ネリ釦<br>色は、表生地と同色とし金属性 | ポケット 1 個<br>前立用 |
| 袋布 | 綿 100%又はポリエステル混紡スレーキ | 袋布（脇・ピスポケット）<br>シック |
| 腰裏 | 袋布と同一生地又は準じたマーベルト | 腰裏 |
| 膝当 | ポリエステル 100%　帯電防止加工 | 膝当 |

## 3. 縫製

### (1) 上衣

| 区分 | 規格 | 摘要・用途 |
|---|---|---|
| 襟 | 地襟は表生地のバイアス地と襟芯を使用し、表襟はミシン付きとする。 | 手付可 |
| 襟吊 | 縫腰裏に平行にミシン押さえ | 縫襟吊 |
| 前身 | 胸ダーツ、脇ダーツ付<br>前身は加工毛芯を使用して、型くずれが生じないよう十分注意する。 | バス毛芯使用 |
| 背中 | 肩骨のゆとりをつけるため、十分な肩ぐせをとる。<br>縫い割り二つ折りミシン掛け | |
| 肩縫 | 表地は縫い割りとし、裏地は片倒しとする。 | 裏地縫いミシン可 |
| 肩パッド | 芯と裏地の間にはさみ込み、しつけ止めし、袖中とじでとめる。 | 成型パット<br>15m/m　1組 |
| 袖付 | 袖及び身頃の合印を完全に合わせ、地縫いし、裄綿を入れて袖山を割る。<br>特にねじれ、ピリに注意する。 | 袖山置割可 |
| 裾 | 裾折り代は3cm以上とし裏地は1.5cmひかえて、約3cmのきせをかける。 | 奥まつり可 |
| 内ポケット | 片玉左右ポケット。<br>位置、寸法によりバランスを保つこと。 | 左右に各1個<br>鳩目穴 |
| 袖章 | 金線 | 縫いじわがないように注意 |

### (2) ズボン

| 区分 | 規格 | 摘要・用途 |
|---|---|---|
| タック | 左右2本　外向き | 深さ1.5cm |
| 脇ポケット | 立てポケット（アジャスター付き）<br>テープを必ず入れて飾り縫いで押さえる。 | 口巾15cm以上、深さ13cm以上、巾0.7cm |
| ピスポケット | 左右尻部に片玉ポケット<br>雲型蓋付釦止め<br>袋は地縫いと押さえの二重縫いとする。 | 口巾15cm以上<br>深さ18cm以上 |
| 後ダーツ | 左右各2本 | 片返しミシン縫 |
| 腰裏 | マーベルト（芯入り）をベルトループで押さえる。 | 巾6cm |
| てんぐ前立 | 共生地使用、三角天狗鼻付。<br>芯入り裏地、上衣と同様。 | オーバーロック |
| ベルトループ | 8本付。下部ミシン押さえ。<br>尻ループのみ2本付ける。 | ループ巾1cm<br>長さ4.5cm |
| 内股縫<br>尻縫 | 縫い代はオーバーロックをかけ、縫い割りをする。<br>特に内股の膝より上部と尻縫いは二重縫いとする。<br>尻縫いに生地を引っ張ったり、糸切れしないようにする。 | 本縫い又はかん縫 |
| シック | 尻から小股にかけて必ずシックを当てる。 | 袋地又は綿テープ<br>棒シック（巾2cm、長さ14cm） |
| 持出 | 表生地耳使用 | 巾2cm　長さ約20cm |
| 裾 | シングル。裾折返し巾5cm以上とする。<br>右ピスポケット袋布　表に縫い付ける。 | 手千鳥又はオーバーロック、ルイス止め。 |
| 膝当 | 適度のゆとり量を入れ、ねじれのないように付ける。 | オーバーロックと前身頃と一緒にほつれ止めをする。 |
| 側章 | 金線 | 縫いじわのないように注意する。<br>巾1cm　2本 |

## 4. 条件

### (1) 裁断

(ア) 肩入れは、布目を正しく合わせて行うこと。
(イ) ハギの部分を使用しないこと。
(ウ) 全ての身頃及び表付属は、同一の品であること。

### (2) 縫製

(ア) 針数は、3cm 間に次の様に定める。
・地縫　　14 針以上
・まつり　　7 針以上
・ルイス　　6 針以上
(イ) 糸調子及び縫い目は、上下糸共ツレ、たるみ及び縫い飛び、又は縫いはずれがないとするとともに、返し針を完全に行うこと。
(ウ) 飾り縫いは、ねじれたり、曲がったりしないように、一定の中にかけること。
(エ) 糸、芯地及び釦等の色相は、表生地に合わせること。
(オ) ポケット、雨蓋、背ベルトなどの取り付け位置及び、大きさは寸法により適度のバランスを保つようにすること。
(カ) 袖口芯は、袖の力芯を兼ねるように、必ず袖章の押さえミシンを完全にかけること。
(キ) 片布は、印刷又は、不滅インクで押印した白布（周囲を折って）をつける。

### (3) 仕上

(ア) シミ、よごれ、糸くず等がないこと。
(イ) コテ光り、アイロン焼がないように、丁寧に仕上げること。

### (4) 穴かがり

(ア) 釦の大きさに大応じて、位置を正しくかがること。
(イ) 鳩目穴とし、閂止めであること。

### (5) 閂

(ア) ポケットの両端は、機械閂止めとする。
ただし、胸ポケットは、ミシン飾り止めとする。
(イ) ズボン小股ファスナー止まりは、機械閂止めとする。

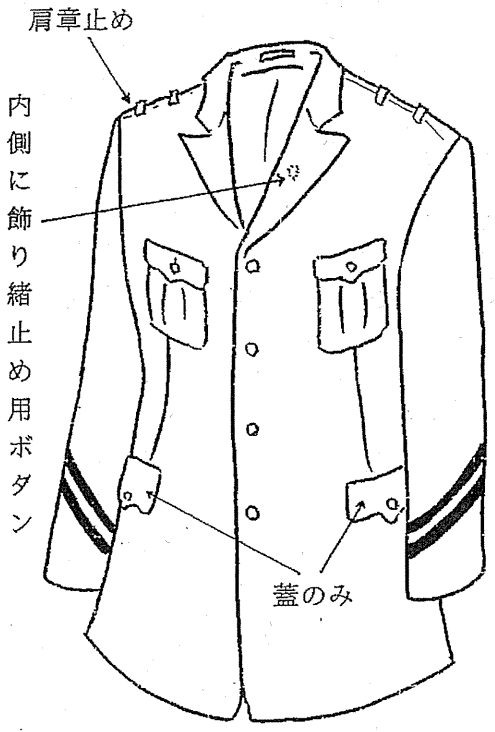
### (6) エンブレム台座

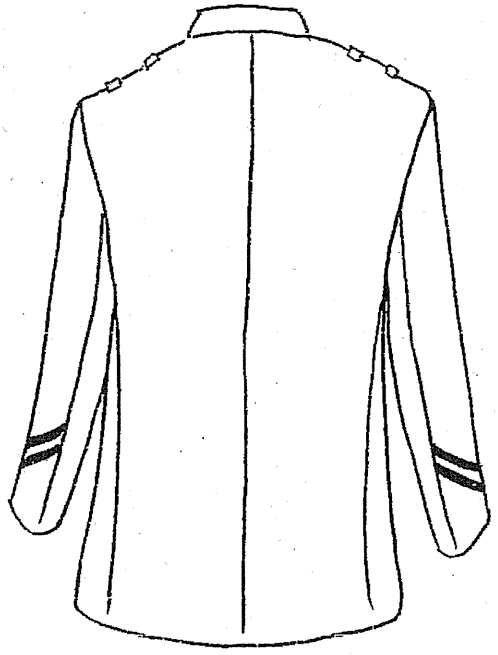
左上腕部（別図参照）にエンブレム台座（縦 63㎜×横 93㎜ 黒色マジックテープ「メス」）を縫着すること。

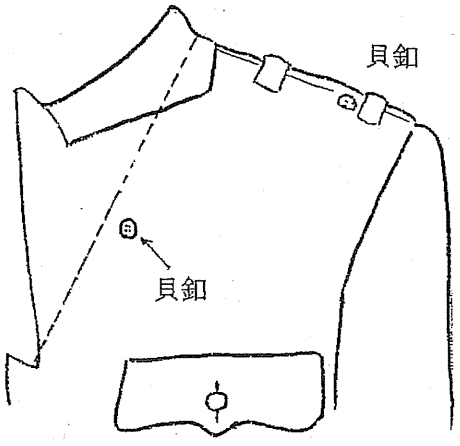
## 5. その他

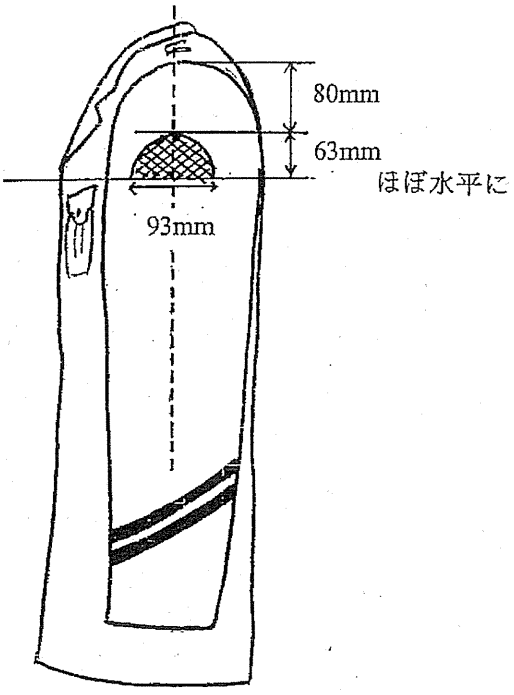
(1) 仕様書に基づき、入念に縫製すること。
(2) 落札業者は、仕様書により見本を製作し、係の承認指示により製作にかかるものとする。
(3) 仕様書における細部については、係と話し合い、また仕様書に記載のない事項については、協議のうえ決定する。
(4) 納品の際、指定する生地の品質並びに出荷済証明書を提出すること。
(5) 不良品の取替及び補正はすみやかに行うこと。

（別図）
上衣

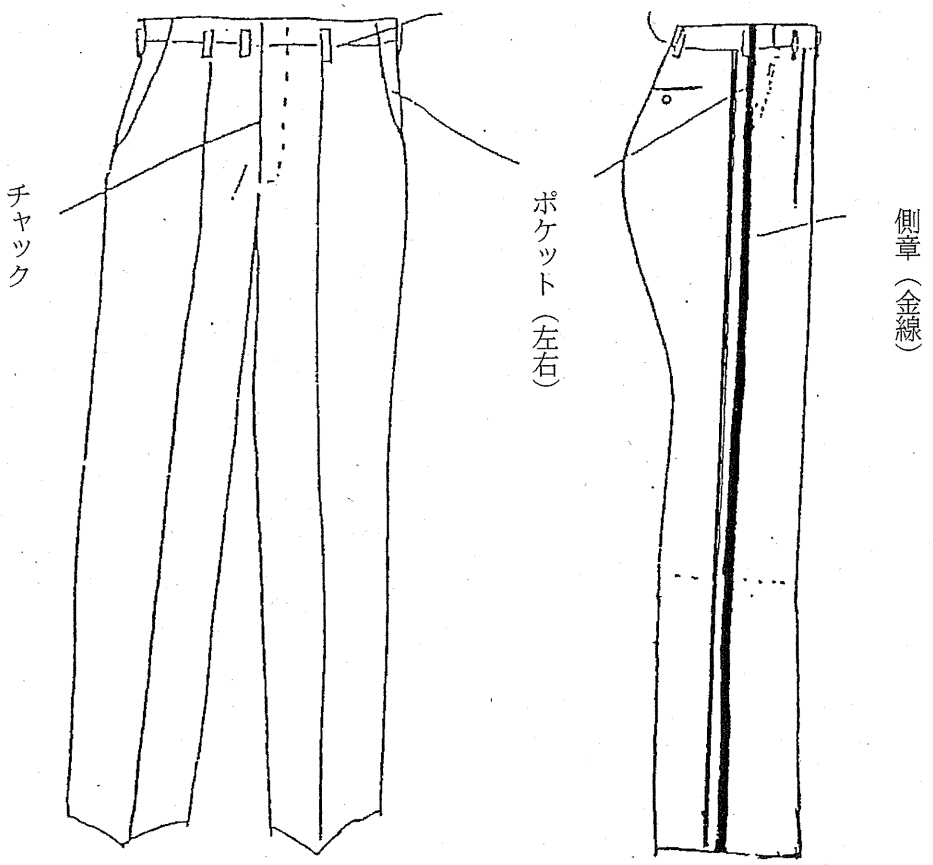




ズボン



# 仕　様　書

消防音楽隊制服　（冬服）

福 岡 市 消 防 局

〔上　衣〕

1.　型　式

上衣　シングル型　4ツ釦・背抜き・箱胸ポケット・腰フラップ
・衿ピーク型・右内側にうたつき内ポケット有り

2.　材　料

| 区分 | 品名 | 品質 | 概要 | 参考 |
|---|---|---|---|---|
| 表地 | 123―指定色 | ウール　100% | | |
| 胴裏 | T18200(黒) | ポリエステル　100% | 胴裏 | |
| 袖裏 | T18200(黒) | ポリエステル　100% | 袖裏 | |
| 衿芯 | D 330 | ウール　60%レーヨン　40% | | |
| 前芯 | 6580 | 接着芯 | | |
| 胸増芯 | DE(生成) | 良質のもの | | |
| 肩綿 | N 1100 | 良質のもの | | |
| タレ綿 | No.6 | 良質のもの | | |
| 袋地 | 9672 | ポリエステル　65%綿　35% | ポケット袋 | |
| ボタン | MABO ゴールド | 良質のもの | | |
| 衿つり | 無地(黒) | 良質のもの | 衿つり | |
| 衿裏 | BBFC(黒) | 良質のもの | | |
| 胸箱芯 | 55/L | 良質のもの | | |
| 片布 | | 指定品 | 上前内ポケット内 | |
| 品質表示 | | ウール　100% | 上前内ポケット内 | |

3. 縫　製

(1)衿　　衿は図のようなピークとする。

(2)胸ポケット　　上前適当な位置に箱ポケット。箱芯入り、口幅9cm、深さ13cm、箱幅2．5cmとする。

(3)内ポケット　　右ふた付きボタン止め。口は両玉縁とし口幅13．5cm、深さ19cm口両端カンヌキ止とする。

(4)返し止め縫い　　上方から内ポケット側まで星飾りを入れる。

(5)ダーツ　　胸ぐせ、脇ぐせを上前、下前に各１本つける。

(6)身返し　　衿中央でハギ無しとし、身返し幅は上部で7cmとし、ボタン位置で8cmとする。

(7)袖・肩縫い　　表時割縫いとし、裏地は片倒しとする。
袖付けは普通袖肩パッド入り、袖裏はいせこみの手まつりとする。
袖に金糸縞を２本入れる。(幅18mm)

(8)肩パット　　所定の位置に芯裏の間にとじ付ける。

(9)裏　　前身は総裏付きとし、背裏は背抜き、背裏中心部縫代にくさり止めで浮かす。
前裾は表地折返し3cmとし、据上がりより1．5cmの奥まつりとする。

(10)ネーム　　個人名を刺繍でいれる。

(11)針数　　2．5cm間の表面に現れた糸数は、地縫い13針、飾縫16針、袖裏まつり7針、
ルイス10針程度とする。

〔ズボン〕

1. 型 式

裾はシングル、腰帯幅3. 5cm、ツータックとする。

ファスナー開き、左右後ポケットは片玉縁、左ポケットのみフラップ釦付き。

ズボン帯下より裾口までモール付きとする。

2. 材 料

| 区分 | 品名 | 品質 | 概要 | 参考 |
|---|---|---|---|---|
| 表地 | 123—指定色 | ウール 100% | | |
| 腰裏 | DT805G | ポリエステル 65%綿 35% | | |
| 袋地 | 805 | ポリエステル 65%綿 35% | ポケット袋、尻シック | |
| 膝当 | T201G | ポリエステル 100% | | |
| 帯芯 | T107 33m/m | ナイロン 100% | | |
| ファスナー | 4G | 良質のもの | | |
| ボタン | OK7(黒) | ポリエステル 100% | | |
| 前カン | 267K | 良質のもの | | |
| 片布 | | 指定品 | 後ポケット内 | |
| モール | 金糸縞 | 1.2cm | | |
| 品質表示 | | ウール 100% | 後ポケット内 | |

3. 縫 製

(1)腰帯　仕上り3. 5cmとし、縦地使用で芯入りとする。

(2)前タック　左右各 2 本とし外向けに付け、深さ1. 5cmとする。

(3)膝当て　腰帯縫線から65cmの膝当てをつける。

(4)モール　指定のモールを帯下より裾口までつける。(幅9mm)

(5)脇ポケット　左右ポケットとしアジャスター付き、口幅15cm、深さ口下より13cm、口両端カンヌキ止め。後は0. 6cmの飾り押さえとする。

(6)忍びポケット　脇ポケット右内側袋に張り付け、口の部分は三つ折りとし、口幅10cmとする。

(7)後ろポケット　左右各 1 個、片玉縁、左ポケットのみフラップ付き釦止めとする。口幅14cm、深さ17cm、口両端カンヌキ止め、表地向当て4cm、袋は0. 6cmの飾り縫いとする。

(8)ベルト通し　8本とし、(後ろ中心は2本)上端1cm下りで、幅0. 8cm、長さ(ベルトの通る部分)4. 5cmとする.

(9)後ダーツ　後ろ身 2 本、地縫片倒しとする。

(10)相引、内股、尻ぐり　立ち目はすべてオーバーロック、内股、尻ぐりは二度縫いとする。

(11)前立　立ち目はオーバーロックで芯入り。ファスナー止め、天狗先は釦止め。

(12)尻シック　袋地をバイヤスに二つ折りにして使用する。

(13)靴ずれ　表地反耳を使用し、幅2. 5cm、長さ15cmとする。

# 仕　　様　　書

## 消防音楽隊制服

## (盛　夏　上　衣)

福　岡　市　消　防　局

# 消防音楽隊（盛夏上衣）仕様書

## 1　形状・外観等

（1）上衣

| | | |
|---|---|---|
| ア | 全体 | 肩章付き（金線付き）半袖シャツ |
| イ | 衿 | 台衿付きシャツカラー |
| ウ | 前身頃 | 表前立ち仕立て、６個釦 |
| エ | 後身頃 | 肩切り替え、タック２本 |
| オ | ポケット　（胸） | 雨蓋付きポケット（左右） |
| カ | 袖 | 半袖、袖口内側に折り返し（金線付き） |

（2）製作方法

| | | |
|---|---|---|
| ア | 採寸 | 各人採寸（着せ付け採寸も可） |
| イ | 仕立て | 寸法に合わせて仕立て |

## 2　生地

表地（1）

| | |
|---|---|
| 品　番 | Ｔ７８２０４ |
| 品　名 | エコエムールバスケット |
| 番　手 | T75de/2　×　T/C42/1 |
| 混　率 | ポリエステル８０％　綿２０％（内、エコ率２５％） |
| 色　合 | ＫＷ |

表地（2）

| | |
|---|---|
| 品　番 | ２０５ |
| 品　名 | ロイヤルタッサー |
| 混　率 | ウール４０％　ポリエステル６０％ |
| 色　合 | ７７０ |

## 3　材料

| 区分 | 仕様（規格） | 用　途 |
|---|---|---|
| 主材料 | 表地（1） | 前身頃、後身頃、前立、衿、衿腰、肩ヨーク、胸ポケット、胸ポケット雨蓋 |
| | 表地（2） | 肩章 |
| 副材料 | 芯地 | 台衿、衿羽根、肩章、雨蓋、 |
| | キーパー | 衿羽根 |
| | 11.5mm釦 | 前立５個、台衿１個、胸ポケット２個 |

| | | |
|---|---|---|
| | （金色） | |
| | ２０mm 釦<br>（金色） | 肩章２個 |
| | 片布 | １枚 |
| | エンブレム台座 | 左袖１枚 |
| | マジックテープ | 雨蓋裏（左右）白２０mmA、B |
| | 金線（９mm幅） | 肩章（左右）、袖口（左右） |
| | 縫い糸　ポリエステル糸 | ８０番；オーバーロック<br>５０番；地縫い、飾り縫い、穴かがり、 |

４　製作条件

（１）測定・表示の単位　全ての単位はcm単位とすること。

（２）裁断

ア　一着について同一反物を使用すること。

イ　型入れは地の目を通すこと。

（３）縫製

ア　一般原則

(ア) 各部の縫い合わせは優美で、縫い外れ、縫い目曲がり、つれ、たるみ等が無いこと。

(イ) 穴かがり、釦付けは完全にすること。

(ウ) 縫い終わり、縫い始めの返し縫いは十分にすること。

(エ) 付属品は堅固に付けること。

(オ) 各部の計測については正確に行うこと。

イ　針数（３cm間の表面に現れた糸数）

地縫い、飾り縫い　　１４針以上

オーバーロック　　８針以上

ウ　縫い代

１cm以上を標準とする。

エ　穴かがり

(ア) 機械眼り穴かがり

(イ) 下記の位置に指定の個数かがること。

上前立　　６個

肩章　　２個

オ　釦付け

機械付　強度は手付け（２本糸、２回通し）と同等以上とし、糸止めを完全にすること。

カ　閂
本縫いミシン閂
胸ポケット口両端

（4）仕上げ

ア　糸屑は丁寧に取り除くこと。

イ　素材に適した条件でプレスすること。

（5）表示　家庭用品品質表示法に基づいて次の事項を表示すること。

ア　品質表示　　表地、裏地の繊維名を表示。

イ　取り扱い絵表示　ＪＩＳ、ＬＯ２１７の規定に基づいて表示すること。

ウ　通産省承認番号　品質絵表示及び取り扱い絵表示に明記
もしくは製造業者名

5　縫製仕様

| 区分 | 縫　製　要　領 |
|---|---|
| 衿 | 衿羽根は、芯及び補強芯を入れ、地縫い返しとし、0.5 cmの飾り縫いをする。衿幅は、中央で4.5 cm、衿先で7 cmとする。台衿は芯を入れ、中央で3.5 cmの衿羽根を挟み地縫い返しとし、0.5 cmの押さえ縫いをする。衿付けは裏から地縫い、表から二条押さえ縫いをする。台衿の端に釦1個付ける。 |
| 胸ポケット | 左右雨蓋付きアウトポケットとする。口は幅2 cmの三つ折り縫い。口幅13 cm、深さ中央で14 cm。ポケット付けは端飾り縫いで縫着する。雨蓋は、幅14 cm、中央で5.5 cm、両端4 cmの中央剣型とし、芯を貼り周囲は地縫い返しとし、0.5 cmの飾り縫いをする。雨蓋の布目は身頃に合わせる。雨蓋付けとポケット口との間隔は1 cmとする。雨蓋の開閉はマジックテープ止め（2×3　A、B）とする。左右雨蓋中央に飾り釦1個を縫い付ける。 |
| 前立 | 上前立は、幅3.5 cmの表前立とし、両端にシングルステッチをかけ、釦5個を所定の位置に付ける。 |
| 肩縫い | 表ヨークと裏ヨークで身頃を挟み地縫いし、端飾り縫いをする。 |
| 背ヨーク | 表裏共一枚生地。後身頃（左右一条深さ2 cm程度のひだとり）との縫い合わせは地縫い返しとし、前身頃との縫い合わせははめ込みにして、飾りミシン衣一条とする。 |
| 脇縫い | 地縫いし、裁ち目は合わせてオーバーロックかがりをする。インターロック可。 |
| 袖縫い | 地縫いし、裁ち目は合わせてオーバーロックかがりをする。インターロック可。袖縫いは脇縫いと通して縫う。 |
| 袖付け | 地縫いし、裁ち目オーバーロックかがりをし、0.5 cmの飾り縫いをする。インターロック可。 |
| 袖口 | 表側に三重に折返し、折り返し幅は3 cmとする。 |

| | |
|---|---|
| 肩章 | 剣先型とし、補強心を接着した肩章芯と肩章裏側表生地とを合わせ、中央を袖付け部分から剣先まで地縫い返しをし、周囲に幅9mmの金線を縫い付ける。肩章は肩縫い線より肩章の前端がヨーク側に1㎝入り、肩章先は衿付け縫いより2㎝程度の位置とする。肩章付けは袖付けに挟み込み縫いし、×ステッチをかけたあと身頃側に倒し、｜｜縫いで身頃に縫い付ける。肩章開き止まり部は二重縫いする。×部分は身頃に縫い付けない。 |
| 裾 | 幅0.3～0.6㎝の三巻き縫いとする。 |
| 片布 | 右胸ポケット裏側に縫い付ける。 |
| エンブレム台座 | 左袖の所定の位置に縫い付ける。 |

6　工程及び自主検査等

（1）工程等

ア　契約後速やかに工程表を提出し、本局の指示を受けること。

イ　製作工場名及び製作予定数量を報告すること。

[注]変更があった場合も同様とすること。

（2）主材料の確認

ア　指定品番を使用する場合

完成品検査時に繊維会社または特約店の出荷証明書を提出すること。

イ　指定品番以外を使用する場合

（ア）入札前日までに、使用する主材料の品番及び製品及び本局の指定する項目についての分析結果を提出し、了承を得ること。

（3）中途における確認等

製造に着手後速やかに、製品の一部を本局に提出し、仕様等について本局の確認及び指示を受けること。

（4）費用

（1）～（3）にかかる費用は受注者の負担とすること。

7　納入

（1）型くずれのないように検品の上、ビニール袋にて納入すること。

（2）ビニール袋には所属・氏名・職員番号を記入すること。

（3）指定する日時、場所に納品すること。

8　その他

（1）仕様書に記載のない事項については、（財）日本繊維製品品質技術センターの衣料品品質基準に準ずること。

（2）形状・外観、縫製、寸法等に不備または相違がある時は、速やかに補正するか作り替えること。

男性用サイズ規格

単位（cm）

| ｻｲｽﾞ | N | 肩幅 | B | W | 前丈 | 後丈 | 袖丈 | 裾廻り | 袖口 | AH |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A 1 | 37 | 44 | 100 | 90 | 68 | 71 | 25 | 94 | 37 | 46 |
| A 2 | 38 | 45 | 103 | 93 | 70 | 73 | 25 | 97 | 37 | 46 |
| A 3 | 39 | 46 | 106 | 96 | 72 | 75 | 25 | 100 | 38 | 47 |
| A 4 | 40 | 47 | 109 | 99 | 74 | 77 | 25 | 103 | 38 | 48 |
| A 5 | 41 | 48 | 112 | 102 | 76 | 79 | 25 | 106 | 39 | 49 |
| A 6 | 42 | 49 | 114 | 104 | 78 | 80 | 25 | 108 | 40 | 50 |
| A 7 | 43 | 50 | 118 | 108 | 80 | 83 | 25 | 113 | 41 | 52 |
| A 8 | 44 | 51 | 122 | 112 | 82 | 85 | 25 | 118 | 42 | 53 |
| B 1 | 40 | 46 | 107 | 102 | 68 | 71 | 25 | 103 | 38 | 48 |
| B 2 | 41 | 47 | 110 | 105 | 70 | 73 | 25 | 106 | 39 | 49 |
| B 3 | 42 | 48 | 113 | 108 | 72 | 75 | 25 | 109 | 40 | 50 |
| B 4 | 43 | 49 | 116 | 111 | 73 | 76 | 26 | 113 | 41 | 51 |
| B 5 | 44 | 50 | 120 | 115 | 74 | 77 | 26 | 117 | 42 | 53 |
| B 6 | 45 | 51 | 124 | 119 | 76 | 79 | 26 | 120 | 43 | 54 |
| B 7 | 46 | 51 | 128 | 123 | 78 | 80 | 26 | 123 | 44 | 55 |
| B 8 | 47 | 52 | 132 | 127 | 80 | 81 | 26 | 127 | 45 | 57 |
| Y 1 | 37 | 44 | 101 | 86 | 70 | 73 | 25 | 93 | 37 | 46 |
| Y 2 | 38 | 45 | 104 | 89 | 72 | 75 | 25 | 96 | 37 | 46 |
| Y 3 | 39 | 46 | 107 | 92 | 74 | 77 | 25 | 99 | 38 | 47 |
| Y 4 | 40 | 47 | 110 | 95 | 76 | 79 | 25 | 102 | 38 | 48 |
| Y 5 | 41 | 48 | 113 | 98 | 78 | 82 | 25 | 105 | 39 | 49 |
| Y 6 | 42 | 49 | 116 | 102 | 80 | 83 | 25 | 109 | 40 | 50 |
| Y 7 | 43 | 50 | 119 | 107 | 81 | 84 | 25 | 113 | 41 | 51 |
| Y 8 | 44 | 50 | 122 | 112 | 82 | 85 | 25 | 117 | 42 | 53 |

女性用サイズ規格

単位（cm）

| ネック | 肩幅 | バスト | W | 着丈 | 半袖丈 |
|---|---|---|---|---|---|
| ３６ | ４１ | ９８ | ９０ | ７０ | ２５ |
| ３７ | ４２ | １０２ | ９４ | ７０ | ２５ |
| ３８ | ４３ | １０６ | ９８ | ７２ | ２５ |
| ３９ | ４４ | １１０ | １０２ | ７２ | ２５ |

（前）



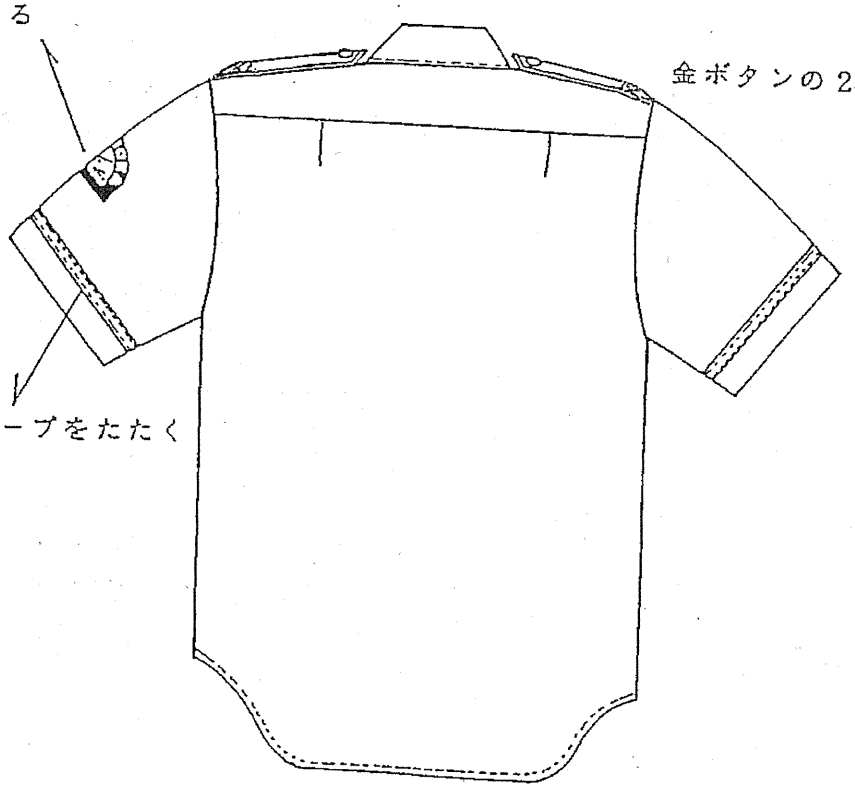
(肩章図)



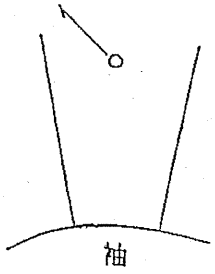
周囲に９㎜幅のテープをたたき２５㎜のボタンホールを開ける

マジックテープをたたいてワッペンをつける

（後ろ）



金ボタンの２０㎜をつける



袖

袖に９㎜幅の金テープをたたく

# 仕　　様　　書

## 消防音楽隊制服

## （盛　夏　ズ　ボ　ン）

福　岡　市　消　防　局

# 消防音楽隊（盛夏ズボン）

1　形状・外観等

（1）盛夏ズボン

| | | |
|---|---|---|
| ア | 脇ポケット | ナナメポケット |
| イ | ピスポケット | 左右片玉、左釦付き |
| ウ | ループ | 幅１㎝　８本（後ろ２本） |
| エ | 裾　口 | シングル |
| オ | 膝　当 | 付き、ベージュ |
| カ | ウエスト | 腰廻り伸縮（拡張）式（ウエストレッチ） |
| キ | タック | ツータック |
| ク | 前開き | ファスナー仕立て |

2　生地

表地

| | |
|---|---|
| 品　番 | Ｔ７６７０５ |
| 品　名 | 裏綿トロピカル |
| 番　手 | 150de　T/C34/1　×　75de　T/C45/1 |
| 混　率 | ポリエステル９０％　綿１０％ |
| 色　合 | １５ |

3　材料

| 区分 | 仕様（規格） | 用　途 |
|---|---|---|
| 副材料 | 芯地 | ウエスマン芯（腰上部芯） |
| | マーベルト | 腰裏 |
| | 袋地 | 脇ポケット、尻ポケット |
| | 不織布 | 前立、天狗、脇ポケット口 |
| | 膝当て | 前身頃膝裏、ポリエステル混紡スレーキ　ﾍﾞｰｼﾞｭ |
| | 釦 | 生地と同色、径 15mm、前立１個、左後１個 |
| | 前カン | ウエスマン、良質な物 |
| | ファスナー | 前立て、４エフロン　色、生地同色 |
| | 片布 | １枚 |
| | ｳｴｽﾄﾚｯﾁ（別紙の通り） | 両腰脇 |
| | 金線（9mm 幅） | 左右側章 |

4　製作条件

（1）測定・表示の単位　全ての単位はcm単位とすること。

（2）裁断

ア　一着について同一反物を使用すること。

イ　型入れは地の目を通すこと。

（3）縫製

ア　一般原則

(ア) 各部の縫い合わせは優美で、縫い外れ、縫い目曲がり、つれ、たるみ等が無いこと。

(イ) 穴かがり、釦付けは完全にすること。

(ウ) 縫い終わり、縫い始めの返し縫いは十分にすること。

(エ) 付属品は堅固に付けること。

(オ) 各部の計測については正確に行うこと。

イ　針数（3cm間の表面に現れた糸数）

地縫い、飾り縫い　　14針以上

オーバーロック　　8針以上

ウ　縫い代

1cm以上を標準とする。

エ　穴かがり

(ア) 機械眠り穴かがり

(イ) 下記の位置に指定の個数かがること。

前立　　1個

左後ポケット　　1個

オ　釦付け

機械付　強度は手付け（2本糸、2回通し）と同等以上とし、糸止めを完全にすること。

カ　閂

本縫いミシン閂

左右脇ポケット口両端

（4）仕上げ

ア　糸屑は丁寧に取り除くこと。

イ　素材に適した条件でプレスすること。

（5）表示　家庭用品品質表示法に基づいて次の事項を表示すること。

ア　品質表示　　表地、裏地の繊維名を表示。

イ　取り扱い絵表示　ＪＩＳ、ＬＯ２１７の規定に基づいて表示すること。

ウ　通産省承認番号　品質絵表示及び取り扱い絵表示に明記
もしくは製造業者名

5　縫製仕様

| 区分 | 縫　製　要　領 |
|---|---|
| 前タック | 左右に各２本、深さ２cmと 1.2 cmの外向きタックをとる。 |
| 後ダーツ | 左右に各２本とる。 |
| 脇ポケット | 左右の脇縫い目より前方２cm、口長さ 18 cmの斜め切替えポケットを左右の脇に各１個付ける。袋の深さは、下止りより 13 cm、幅 16 cmとし、右ポケット内部に深さ６cmと 11 cm、幅８cmの斜め式の忍びポケットを縫い付ける。袋は地縫いと押さえミシンの二重縫いとし、ポケットに伸び止めテープを貼る。脇ポケットの向布横に 1.5 cmのタックをとる。 |
| 尻ポケット | 後身頃左右に、上端から 7.5 cm下がって、口長さ 14 cm、深さ 18 cmの片玉縁ポケットを付け、口両端にかんぬきを入れる。袋は地縫いと押さえミシンの二重縫いとする。左は釦止めとする。 |
| 腰 | 腰は 3.5cm の腰帯付きとし、脇縫いの箇所で、後身側の腰帯下に前身側の腰帯が入るようにする。腰帯内部に伸縮テープを入れ、前身側と後身側が互いに引き合い、左右各 2.5cm 以上腰廻りの拡張が出来るようにする。<br>腰裏はマーベルトを使用し、前立側両端はそれぞれ天狗と前立の前カンの下まで入れる。後部（尻縫い目）は縫い割りし、左右脇縫い目の箇所で、後身頃の腰裏下に前身頃の腰裏が入るようにする。後身頃側の腰裏の下端は、脇縫いの箇所で、表生地に通してかんぬき止めをする。腰裏の下端は、尻縫い代の箇所でまつり止めをする。 |
| 天狗及び前立 | 芯を貼り、ファスナーを付け、剣型鼻天狗とし、鳩目穴をかがる。天狗の上り幅は 3.5 cmとし、前立には 3.5 cm～3.7 cmでミシン縫いをする。 |
| ベルト通し | 幅１cm、長さ（使用部分）4.5 cmのループ８本を上端より１cm下がりで袋縫いし、下部は二つ折りして上から付ける。下共にマーベルトに打ち抜き縫いとする。 |
| 脇縫い | 上端から脇ポケット口下までは、30 番手糸又は 50 番手糸の環縫い（チェーンステッチ縫い）とし、割る。 |
| 内股縫い | 内股膝線まで二重縫い又は、環縫い（チェーンステッチ縫い）とし、割る。 |
| 小股縫い<br>尻縫い | 小股は十文字縫いから５cmとし、尻縫いは、縫い割りとし、30 番手糸又は 50 番手糸の環縫い（チェーンステッチ縫い）とし、尻上部縫い代は 3.5 cmとする。 |

| | |
|---|---|
| シック | 袋地を使用し、幅２cm、長さ 10 cmとし、縫い代に止める。（天狗からの続きシックも可） |
| 靴づれ | 幅 2.5 cm、長さ 16 cm上りの表地の耳を使用し縫い付ける。<br>耳を使用しないときは、裁ち目始末をする。 |
| 裾 | 裾の折り返しは幅５cmとし、ルイスミシンで縫い付ける。 |
| 片布 | 上前脇ポケットの中央に縫い付ける。 |
| 品質表示<br>サイズ表示 | 上前マーベルトと前立の間に縫い付ける。 |
| 側章 | 両側面に腰帯から裾まで、金線（9mm 幅）を各２本縫い付ける。 |

6　工程及び自主検査等

（１）工程等

ア　契約後速やかに工程表を提出し、本局の指示を受けること。

イ　製作工場名及び製作予定数量を報告すること。

[注]変更があった場合も同様とすること。

（２）主材料の確認

ア　指定品番を使用する場合

完成品検査時に繊維会社または特約店の出荷証明書を提出すること。

イ　指定品番以外を使用する場合

（ア）入札前日までに、使用する主材料の品番及び製品及び本局の指定する項目についての分析結果を提出し、了承を得ること。

（３）中途における確認等

製造に着手後速やかに、製品の一部を本局に提出し、仕様等について本局の確認及び指示を受けること。

（4）費用

（１）～（３）にかかる費用は受注者の負担とすること。

7　納入

（１）型くずれのないように検品の上、ビニール袋にて納入すること。

（２）ビニール袋には所属・氏名・職員番号を記入すること。

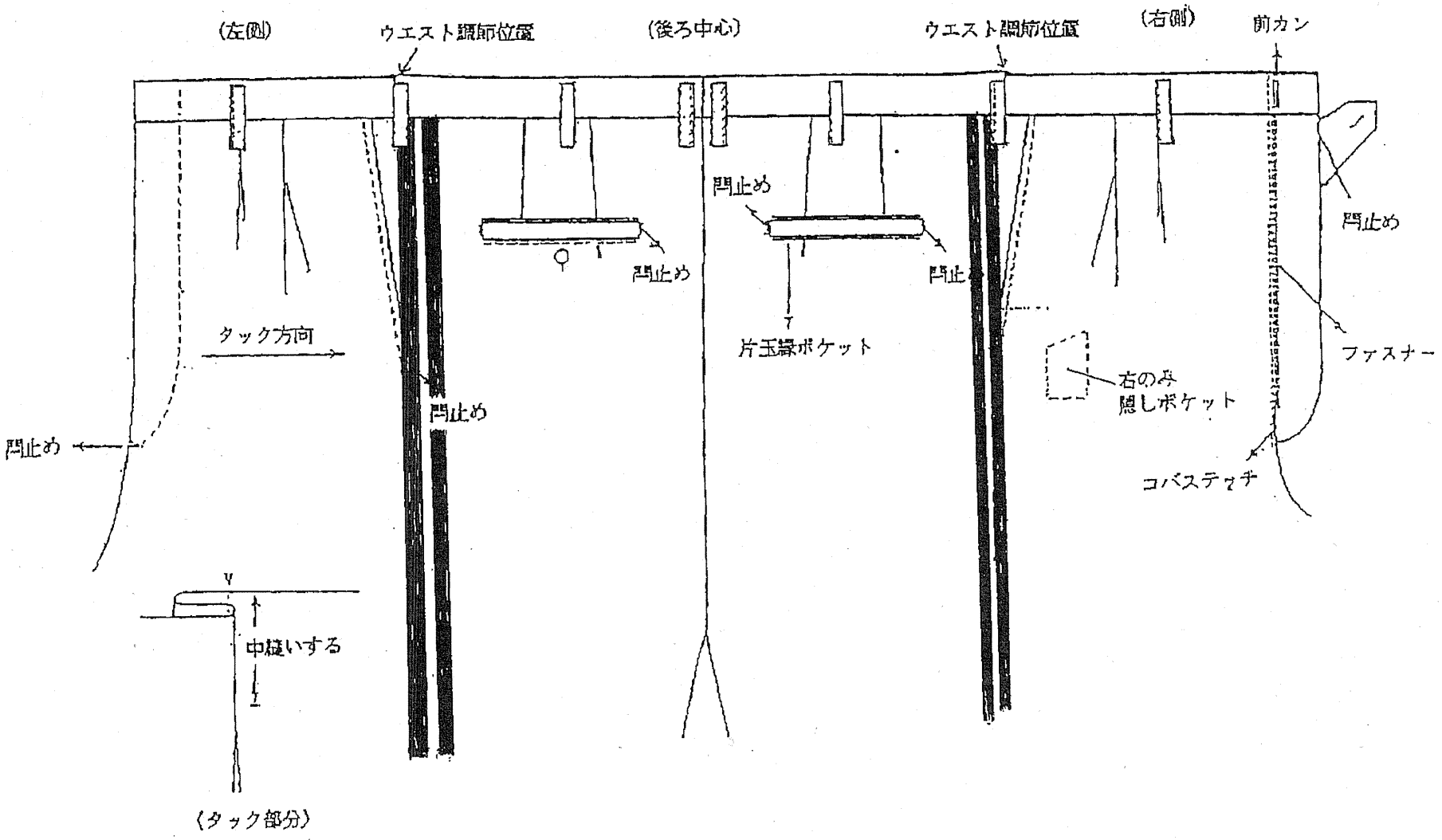
（３）指定する日時、場所に納品すること。

8　その他

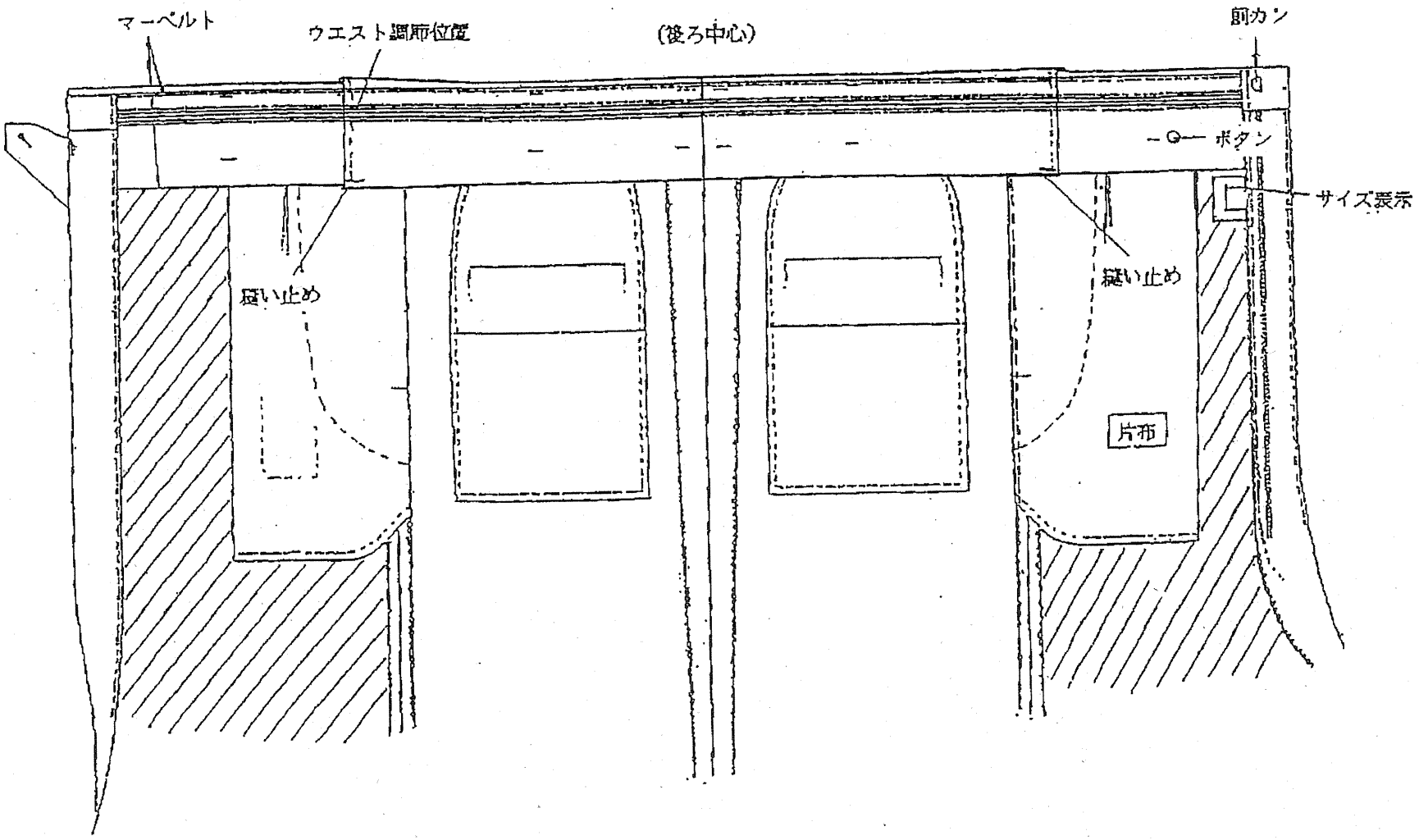
（１）仕様書に記載のない事項については、（財）日本繊維製品品質技術センターの衣料品品質基準に準ずること。

（２）形状・外観、縫製、寸法等に不備または相違がある時は、速やかに補正するか作り替えること。

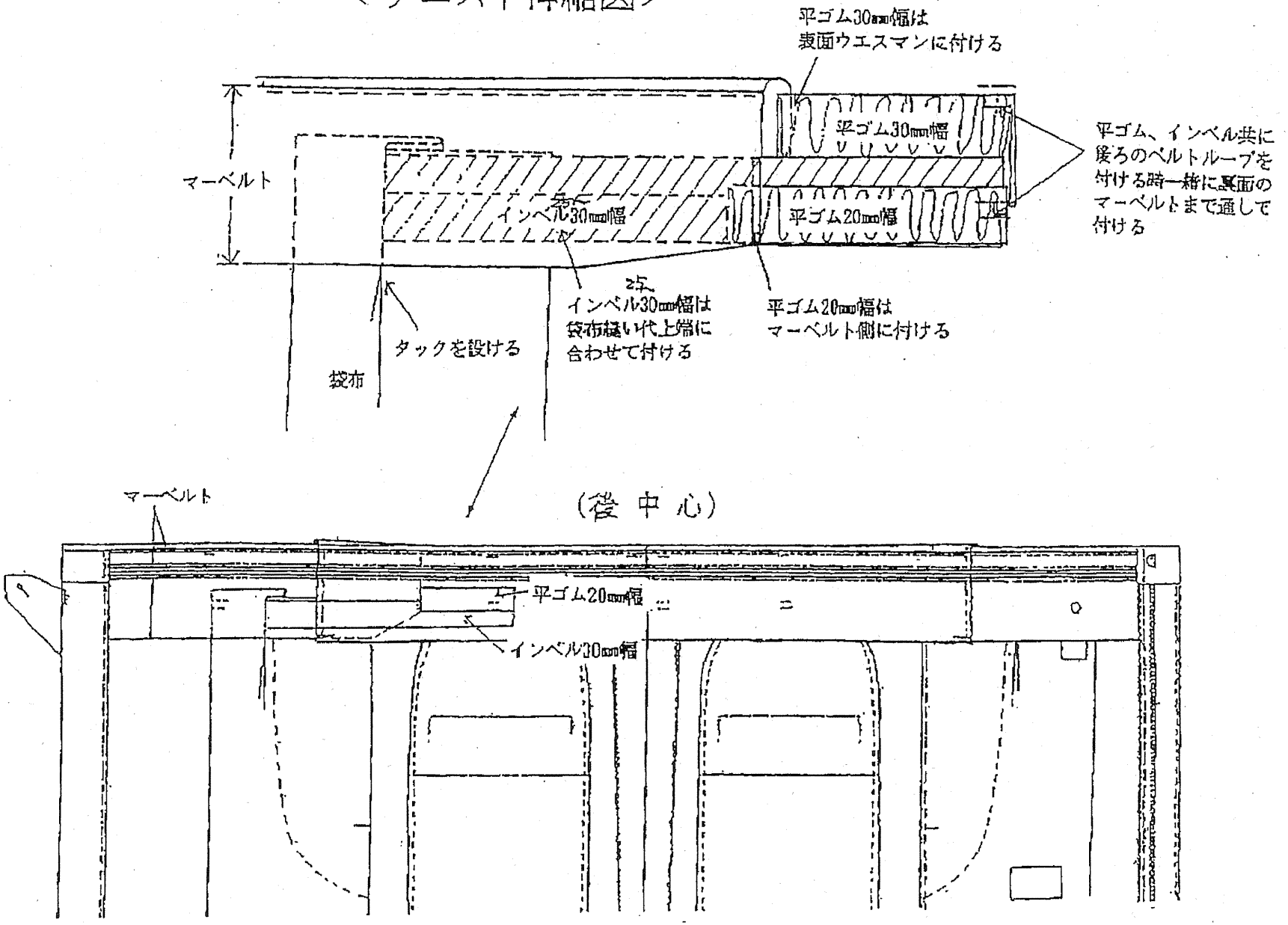
# <表ウエスト全般図>


(左側)
ウエスト調節位置
(後ろ中心)
ウエスト調節位置
(右側)
前カン
門止め
門止め
門止め
門止
片玉縁ポケット
タック方向
門止め
門止め
右のみ
隠しポケット
ファスナー
コバステッチ
中縫いする
〈タック部分〉

# <裏ウエスト全般図>



# <ウエスト伸縮図>


平ゴム30㎜幅は
表面ウエスマンに付ける
平ゴム30㎜幅
平ゴム、インベル共に
後ろのベルトループを
付ける時一緒に裏面の
マーベルトまで通して
付ける
マーベルト
インベル30㎜幅
平ゴム20㎜幅
インベル30㎜幅は
袋布縫い代上端に
合わせて付ける
平ゴム20㎜幅は
マーベルト側に付ける
タックを設ける
袋布
マーベルト
(後中心)
平ゴム20㎜幅
インベル30㎜幅

# 検査成績書

品名:オペロンゴム

| 項目 | | 試験結果 | 試験方法 |
|---|---|---|---|
| 混用率(%) | | ポリエステル 85% | JIS L 1030 |
| | | ポリウレタン 15% | |
| 見掛繊度(D) | たて | ポリエステル 100D | JIS L 1096 |
| | よこ | ポリエステル 150D | |
| | 横巻き糸 | ポリウレタン 1120D | |
| | | ポリエステル 100D | |
| 密度(本/2.54cm) | | 112 | JIS L 1096 |
| 寸法変化率(%) | たて | 3%以内 | JIS L 1018 |
| | よこ | 3%以内 | H法洗濯 |
| 伸び率 | | 2.5倍±0.1 | |

男性サイズ規格

単位(cm)

| 号数 | ウエスト | 股上 | 内股 | 裾口 | 号数 | 股下 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 70 | 24 | 34 | 21 | A | 64 |
| 2 | 73 | 25 | 34 | 21 | B | 66 |
| 3 | 76 | 25 | 35 | 22 | C | 68 |
| 4 | 79 | 26 | 35 | 22 | D | 70 |
| 5 | 82 | 26 | 36 | 22 | E | 72 |
| 6 | 85 | 27 | 37 | 23 | F | 74 |
| 7 | 88 | 27 | 38 | 23 | G | 76 |
| 8 | 91 | 28 | 38 | 23 | H | 78 |
| 9 | 94 | 28 | 39 | 23 | I | 80 |
| 10 | 97 | 29 | 39 | 23 | J | 82 |
| 11 | 100 | 29 | 40 | 24 | K | 84 |
| 12 | 103 | 30 | 40 | 24 | L | 86 |
| 13 | 106 | 30 | 40 | 24 | | |
| 14 | 109 | 31 | 41 | 25 | | |
| 15 | 112 | 31 | 41 | 25 | | |

# 消防音楽隊制服　（赤上衣）　仕様書

福岡市消防局

## １　総　則

福岡市消防局音楽隊員が着用する赤服の調整は、この仕様書によるものとする。

## ２　材　料

材料は全般にわたり十分検査が施され完全であること。
布地はすべて防縮措置を施すこと。

（１）表生地
　　マスダ　アセアンツイル　ＡＳ－２１６０　C/２６
（２）芯地（襟芯、前立て）
　　表生地に適した芯地を使用すること。
（３）ポケット袋布　純綿布（同系色）
（４）縫糸　地縫い糸、ステッチ糸はポリエステル。
　　穴かがり糸、釦止め糸は綿糸とする。
（５）ボタン　２０㎜　金ボタン　３個　前合わせ
　　１０㎜　白ボタン　２個　左衿裏、左肩章部
（６）エンブレム台座
　　半月黒マジック台座メス
（７）ネーム片布　上衣　１枚
（８）金線　１２㎜幅　各袖２本づつ
（９）裏地　良質な物　赤系
（10）平紐　白平紐　左衿裏部

## ３　縫　製

縫製条件
　　ア　ミシン針数　１吋間に地縫い 11～12 針、飾り 13～14 針とする。
　　イ　閂止め　特殊閂止めとする。
　　ウ　釦穴　特殊穴かがり

## ４　型式

　　３つボタンジャケット　背抜き仕様　男前合わせ（男女共）　サイドベンツ
　　肩章ループ付き　金線各袖２本　エンブレム台座付き
前合わせ　　前合わせは３つボタン、男前立て仕様
襟　　ピーク衿、表生地と同色のフェルト地に
　　金刺繍（別図）をし、指定の位置に縫い付ける。
胸ポケット　　左胸、約口幅 8.5 ㎝とする。

脇ポケット　　左右脇に飾り雨蓋金ボタン付き
袖　　金線 12 ㎜を各袖 2 本斜めに縫い付ける。
エンブレム台座　　左上腕部（別図参照）にエンブレム台座（高さ 63㎜、幅 93㎜ 黒色マジックテープのメス）を縫着すること。
ネーム片布　　ネーム片布は下前内側に縫い付ける。
サイズ札　　サイズ札は襟腰下部に縫い付ける。

5　採寸

（1）　指示する時間、場所により採寸を行うこと。イージーオーダー仕立てとする。
寸法取りは、各人採寸（メジャー採寸とする。）のこと。
メジャー採寸の補助として、着付け用ゲージを用意する。
補正事項は、確実に実施する。

（2）中間検査　契約後速やかに試作品を提出し検査を受けること。

（3）納品検査　別途指示する方法による。

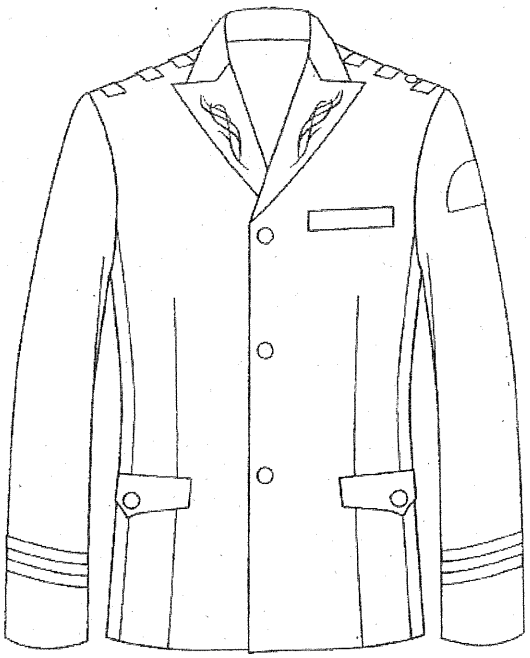
6　納　品　納品は１着ごとに袋に入れ、見えやすい場所に着用者の氏名、サイズを明記し、係員の指示に従い納品すること。

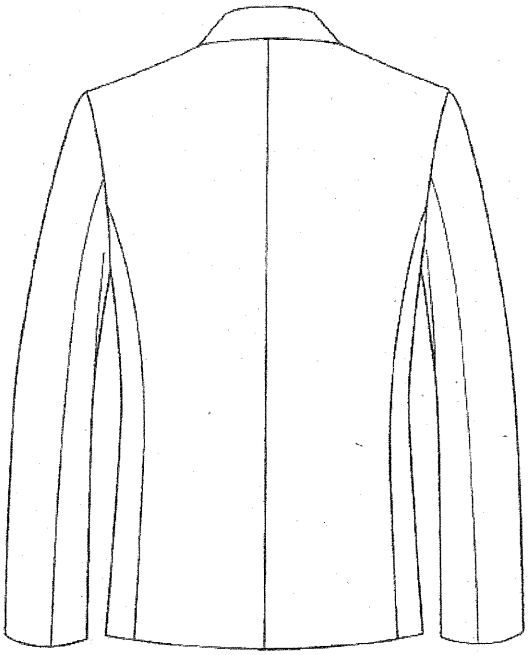
7　不良品の措置　納品後といえども地質、型式、縫製及び寸法等に不備又は相違があるときは、速やかに補修するか、又は取り替えること。

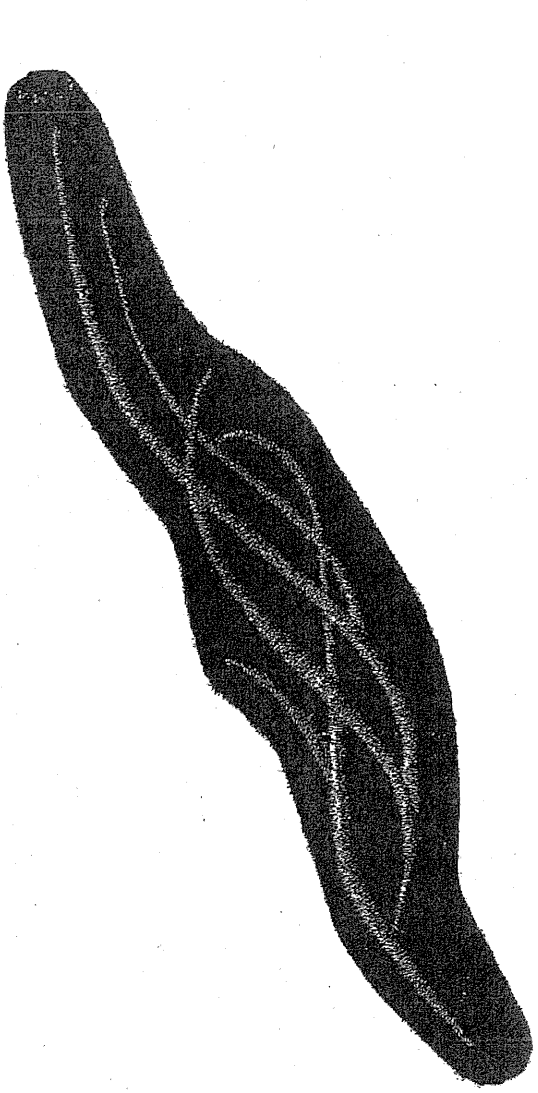
8　その他

（1）この仕様書に疑義を生じた場合は、速やかに係員に連絡し指示を受けること。

（2）仕様書について疑わしき点は、係員と相談のこと。









# 消防音楽隊制帽（夏用・冬用）仕様書

福岡市消防局

# 消防音楽隊　制帽（夏用・冬用）仕様書

## 第１　総　則

１　目　的

この仕様書は，消防音楽隊において調達する制帽（夏用・冬用）について規定する。

## 第２　材　料

１　主　材　料

① 表生地　（夏用）バラシャ　毛５０％　綿５０％　白色
（冬用）ベネシャン　毛１００％　黒色

２　副　素　材

① 裏生地　ポリエステル１００％ メッシュ
（色相は表生地と著しい相違のないこと）

② 天井裏　（夏用）ビニールレザー
（冬用）ビニールレザー

③ まち芯　不織布　厚さ0.8㎜以上

④ 腰　枠　（夏用）発砲ポリエチレン板　黒色
（冬用）発砲ポリエチレン板　黒色

⑤ ひさし表　表生地で
（夏用）金モールで刺繍したもの（月桂樹）
（冬用）金モールで刺繍したもの（月桂樹）

⑥ ひさし裏　牛床皮　シボ付き　黒色

⑦ ひさし縁　牛床皮にビニール引き　黒１本縁縫い

⑧ あごひも（夏用）金線　幅12㎜
（冬用）金線　幅12㎜

⑨ すべり革　テラクール　黒色　幅48㎜ 穴あき

⑩ 帯　　章（夏用）　レーヨン　綾たけべり　白色　幅４０㎜
（冬用）　レーヨン　ななこべり　黒色　幅４０㎜

⑪ あごひも留め日章
（夏用）黄銅製　金色
（冬用）黄銅製　金色

⑫ はりだし芯

発砲ポリエチレン　めがね型（色相は表生地と著しい相違のないこと）

⑬ 前立てばね

扇型ビニール２枚合わせ　幅３㎜の焼入線２本を内包

（夏用）藍色

（冬用）藍色

⑭ ビニール

塩化ビニールフィルム透明　氏名カード用ポケット

天井裏へ接着

⑮ 氏名カード

上質模造紙

⑯ ハトメ

黄銅製　＃２００　表生地と同系色

⑰ テープ

綿綾織　幅１２㎜　表生地と同系色

⑱ 徽章

銀色の金属製（正）消防章をモール製金色で囲む。

台地は黒色のフェルト地とする。

⑲ 縫い糸

ポリエステル糸　＃５０　表生地と同色（本縫）

ポリエステル糸　＃３０　表生地と同色（ひさし、すべり付け）

3　条　件

① 針　数

ミシン縫い　３cm間　１３針以上

ひさし付け　３cm間　　８針以上

すべり付け　３cm間　　８針以上

② 裁断及び縫製

天井、まち、腰に色違いのないように注意すること。

縫い始め縫い終わり箇所は返し縫いをすること。

飾り縫いは縫い目を中心に２㎜幅に施すこと。

縫い代　３㎜～５㎜

4　縫製

① まち縫い

まちは前面２枚後面２枚を縫い合わせ、縫い目の両端は飾りミシン縫いとする。

前まちには芯を縫い付けた裏地を縫い付ける。

② 通気孔

まちの両側に左右２個のハトメをつける。

③ 腰布

腰布の下部に玉縁をつくり、両側を縫い合わせ輪状とする。

④ 天井とまちづけ

天井とまちを縫い合わせ、縫い目をアイロンで割り、飾りミシン縫いとする。

⑤ まちと腰布留め

まちの下部と腰の上端を縫い合わせ、腰の縫い目は後方とする。

⑥ 天井裏

天井裏は円形とし、綿テープで４ヶ所を止めはりだし芯に通す。

⑦ 腰枠こしらえ

腰枠は輪状としホッチキスで止め、前立てばねを付ける。

⑧ ひさし及びすべり付け

腰枠を腰布内部に入れ、腰布下部を内側に折り返してミシン縫いをする。
前面中央にひさしを付け、内側にすべりを縫い付け、後部重ね目はハトメで止める。

⑨ 帯章

腰部に帯章を巻き、あごひもを耳章で止める。

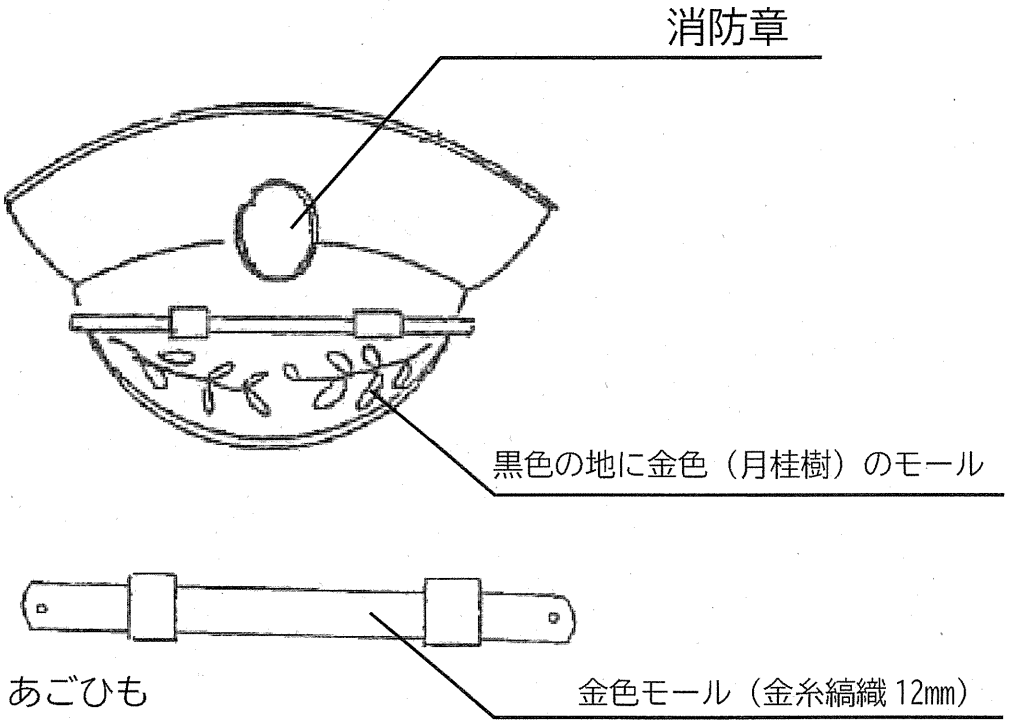
⑩ 徽章

前面中央に徽章を付ける。

# 帽　　子（夏用）

1　生地　　バラシャ（白色）

2　あご紐止め　　金色




備考

1　落札業者は、仕様書により見本を製作し、発注者の承認指示により制作にかかるものとする。

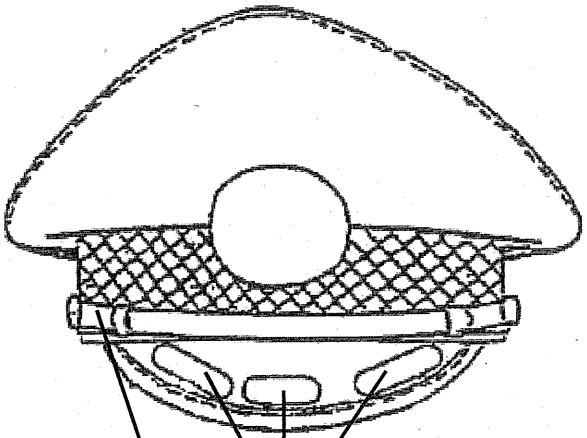
2　仕様書における細部については、発注者と話し合い、また仕様書に記載のない事項については、協議のうえ決定する。

3　完成品を提示し、検査を受けること。その際繊維会社、特約店等の出荷証明書を提出すること。

4　納品後といえども、地質、縫製、サイズ等に不備または相違があるときは、速やかに補正するか取り替えること。

# 制　　帽（冬用）

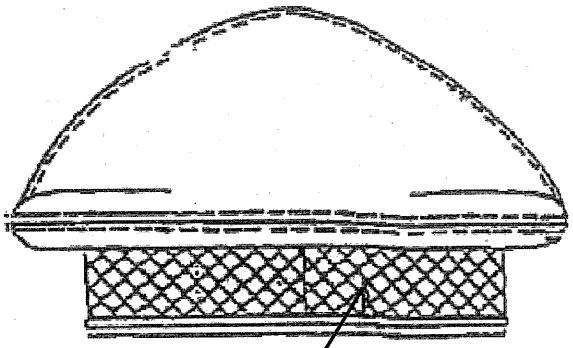
前面図



黒色の地に金色（月桂樹）のモール

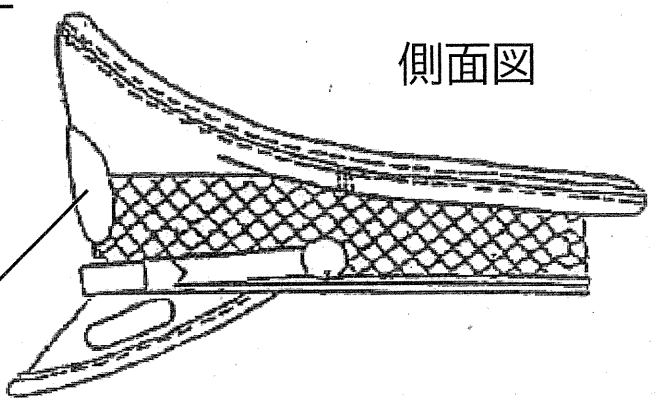
あごひも　金色モール（金糸縞織 12㎜）

後面図



蛇腹（黒）

側面図



消防章

備考

1　落札業者は、仕様書により見本を製作し、発注者の承認指示により制作にかかるものとする。

2　仕様書における細部については、発注者と話し合い、また仕様書に記載のない事項については、協議のうえ決定する。

3　完成品を提示し、検査を受けること。その際繊維会社、特約店等の出荷証明書を提出すること。

4　納品後といえども、地質、縫製、サイズ等に不備または相違があるときは、速やかに補正するか取り替えること。

※発注品の「型式・材質・納期・仕様書記載品以外の同等品認定・その他の内容」等について疑義がある場合は、事前に仕様書記載の担当課へ直接問い合わせること(但し、担当者が一時不在や施設により平日閉庁の場合があるので注意すること)。
担当課の事前承認なき場合は、仕様書記載どおりに履行すること。
見積時の質疑・同等品認定、随意契約伺への無承認事項の記載、落札後の条件変更等は認めない。



# 女性消防団員用制服等購入仕様書

1　件　　名　　女性消防団員　制服上着　外７件

2　履 行 場 所　　福岡市消防局（本部）

3　履 行 期 間　　契約締結日から令和９年３月31日まで

内　　訳

| 品　　名 | 規　　格 | 単位 | 数量 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|
| 女性消防団員　制服上着 | 女性団員用制服製作仕様書のとおり | [redacted] | [redacted] | 所属毎数量、サイズ等は別途指示 |
| 女性消防団員　ベスト | | 着 | 3 | 所属毎数量、サイズ等は別途指示 |
| 女性消防団員　スカート | | 着 | 3 | 所属毎数量、サイズ等は別途指示 |
| 女性消防団員　ブラウス | | 着 | 3 | 所属毎数量、サイズ等は別途指示 |
| 女性消防団員　リボン | | 個 | 10 | 所属毎数量、サイズ等は別途指示 |
| 女性消防団員　制帽 | | 個 | 2 | 所属毎数量、サイズ等は別途指示 |
| 女性消防団員　スラックス | 女性団員用制服（スラックス）製作仕様書のとおり | [redacted] | 1 | 所属毎数量、サイズ等は別途指示 |
| 女性消防団員　革ベルト | 消防団員用制服革ベルト仕様書のとおり | [redacted] | [redacted] | 所属毎数量、サイズ等は別途指示 |

≪担当≫
所属：福岡市消防局 警防部 消防団課
住所：福岡市中央区舞鶴 3-9-7
TEL：092-725-6564
氏名：木下　優也

発注番号　2026014558

# 女性団員用制服製作仕様書

福岡市消防局

1　総　則

この仕様書は、福岡市消防団女性消防団員が着用する制服の調製について定めることとし、本仕様書に関する質疑又は詳細については、福岡市消防局と協議し、その指示に従うこと。

なお、仕様書に記載なき事項といえども当然必要と認められるものは、良心的に実施すること。

（1）　上衣

| | |
|---|---|
| ア　全体 | ブレザーシングル型（別紙１参照） |
| イ　衿 | テーラーカラー飾ステッチ付（フラワーホール付） |
| ウ　前身頃 | ４つ釦、胸切返し、右胸階級章取付台（マジックテープ黒） |
| エ　後身頃 | ヨーク付、センターベンツ |
| オ　ポケット | (胸) 両フタ付（左右穴かがり釦付） |
| | (腰) 左右挟み込みポケット |
| | (内) 下前内ポケット |
| カ　袖 | ２枚袖 |
| キ　裏 | 総裏 |
| ク　階級章 | 別紙２参照 |

（2）　ベスト

| | |
|---|---|
| ア　全体 | シングル３つ釦（別紙１参照） |
| イ　前身頃 | 胸部切返し、右胸階級章取付台（マジックテープ黒） |
| ウ　後身頃 | 切返し |
| エ　ポケット | (腰)左右挟み込み箱ポケット |
| オ　裏 | 総裏 |

（3）　スカート

| | |
|---|---|
| ア　全体 | セミタイト型（別紙１参照） |
| イ　ポケット（脇） | 縦切りポケット（左右） |
| ウ　開き | 後開き |
| エ　後身頃 | 裾スリット付 |
| オ　裏 | 総裏 |

（4）　ブラウス　　長袖ブラウス　アルファピア AR1433-1
色　白色

（5）　リボン　　アルファピア　Ｒ２００－２
色　エンジ色

（６）　制帽　　紺フェルトハイバック型　別紙３参照
３枚葉金モールの中に金物の桜（団印入り）

（７）　製作方法
ア　採寸　　各人採寸（着せ付け採寸も可）
イ　仕立て　　寸法に合わせて仕立て

２　使用材料
（１）　主材料（表地）
ア　上衣、ベスト、スカート
（ア）品名　　ベネシャン
（イ）品番　　２４９０２１
（ウ）混紡率　　ウール７０％、ポリエステル３０％
（エ）色合い　　紺（C/#　１８）

（２）　副材料（裏地）
ア　材質　　ポリエステル１００％　　３２１００
イ　色合い
（ア）上衣　　紺
（イ）スカート　　紺
（ウ）ベスト　　紺
ウ　使用箇所
（ア）上衣　　前後身頃裏、袖裏、腰ポケット雨蓋裏、内ポケット袋
（イ）スカート　　前後身頃裏、脇ポケット袋
（ウ）ベスト　　前後身頃裏、腰ポケット袋、胸ポケット袋

（３）　補助材料
ア　上衣

| （材料名） | （材料） | （品番） | （使用箇所） |
|---|---|---|---|
| 織物接着芯 | ポリエステル１００％ | ２１９０・白 | 前芯 |
| 不織布接着芯 | ポリエステル１００％ | ＳＤ９０００・白 | 見返し芯、衿表裏芯 |
| | | | 胸ポケット箱口芯 |
| | | | 各玉縁芯、雨蓋芯 |
| | | | 袖口芯 |
| | | | 腰ポケット口（補強芯） |
| 肩パット | ポリエステル１００％２枚 | ＷＬＳＭ・白 | 肩台 |
| 裄綿 | ポリエステル１００％２枚 | | 袖付け |
| 釦 | 金釦・２１㎜　　４個 | | 前釦 |
| | 金釦・２１㎜　　２個 | | 雨蓋 |
| スレーキ | ポリエステル１００％ | | 胸ポケット袋 |
| | | | 脇ポケット袋 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| テープ各種 | 平織（ハーフバイヤス） | | アームホール |
| 衿吊りテープ | ７cm | １本 | 衿吊り |

イ　スカート

| （材料名） | （材料） | （品番） | （使用箇所） |
|---|---|---|---|
| インサイドベルト | ポリエステル１００％<br>幅３０mm | Ｈ２１１０ | 腰ベルト |
| ファスナー | ナイロン・紺・２０cm | １組 | 後開き |
| ホック | 金属製カギホック | １組 | 後開き |
| スナップ | 金属製スナップ | １組 | 後開き |
| テープ | ストレート | | 後開き、脇ポケット口 |
| ゴム | 上質なゴム・３０mm | ２本 | 腰ベルト |
| スカート吊りテープ | ２０cm | ２本 | 腰ベルト |

ウ　ベスト

| （材料名） | （材料） | （品番） | （使用箇所） |
|---|---|---|---|
| 織物接着芯 | ポリエステル１００％ | ２１９０ | 前芯、接着芯<br>腰ポケット箱口芯 |
| 釦 | 金釦・２１mm | ３個 | 前釦 |
| 衿織りネーム | | １本 | 衿腰 |

（４）　その他の補助材料

ア　品質表示　４枚　上衣、スカート、ベスト、ブラウス

イ　所属片布　３枚　上衣、スカート、ベスト

ウ　縫い糸　　ポリエステル糸５０番手　地縫い、飾縫い
ポリエステル糸８０番手　すくい
ポリエステル糸４０番手　まつり
ポリエステル糸３０番手　穴かがり、釦付け
ポリエステル糸６０番手　オーバーロック

エ　梱包資材　　洋服箱

［注意］１　縫糸、釦は表地と同系色または見合う色合いとすること。
２　釦はプレス等により色落ちしないものを使用すること。
３　副材料、補助材料のうち品番で指定したものは、品番のものまたは同等以上のものを使用すること。

３　製作条件

（１）　測定・表示の単位　全ての単位はcm単位とすること。

（２）　裁断

ア　一着について同一反物を使用すること。

イ　型入れは地の目を通すこと。

（3）　縫製

ア　一般原則

（ア）各部の縫い合わせは優美で、縫い外れ、縫目曲がり、つれ、たるみ等がないこと。

（イ）穴かがり、釦付けは完全にすること。

（ウ）縫い終わり、縫い始めの返し縫いは十分にすること。

（エ）付属品は堅固に付けること。

（オ）各部に計測については正確に行うこと。

イ　針数

（ア）地縫い、飾り縫い　　１３針以上（３㎝間）

（イ）オーバーロックかがり　　８針以上（　〃　）

（ウ）すくい縫い　　６針以上（　〃　）

（エ）まつり（袖裏、裾等）　　８針以上（　〃　）

ウ　穴かがり

（ア）機械鳩目穴、別門つき。

（イ）下記の位置に指定の個数をかがること。

上衣　　上前　　４個

ベスト　上前　　３個

［注意］穴の大きさは、すべて釦に合わせてかがり、かがり糸が布から抜けないこと。

エ　釦付け

（ア）手付け　　２本糸で１つの穴に２回以上通し、糸止めを完全にすること。

上衣の前釦とベストの使用釦は、３回以上根巻きすること。

（イ）機械付け　強度手付けと同等以上とし、糸止めを完全にすること。

（4）　仕上げ

ア　糸屑は丁寧に取り除くこと。

イ　素材に適した条件でプレスすること。

（5）　表示　家庭用品品質表示法に基づいて次の事項を表示する。

ア　品質表示　　表地、裏地の繊維名を表示

イ　取り扱い絵表示　　ＪＩＳ、Ｌ０２１７の規定に基づいて表示

ウ　経産省承認番号　　品質表示及び取り扱い絵表示に明示

もしくは製造者名

4　製作行程表

契約後すみやかに製作工程表を提出し係員の承認を得ること。

ただし、係員の指示により省略することができる。

5　検査

（1）　中間検査

生地の出荷証明書、使用材料及び試作品を提出し検査を受けること。

（２）　納品検査

別途指示する方法による。

6　納品

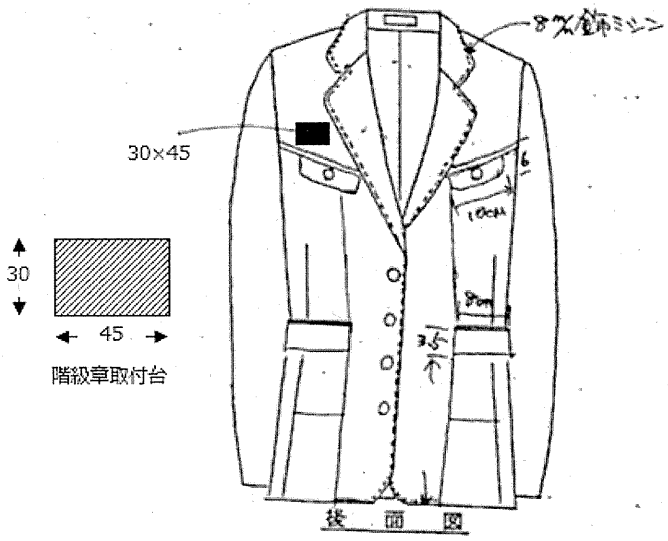
１着毎に箱に入れ、見やすい場所に着用者の氏名及び号数を記入し、係員の指示に従い所属別に納品すること。なお、上衣及びベストについては、それぞれ階級章を取り付けて納品すること。

7　不良品の処置等

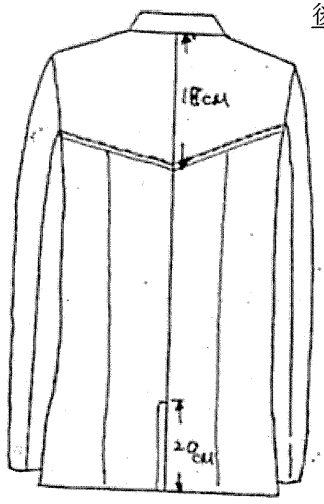
納品後といえども地質、制式、縫製等に不備または相違があるときは、すみやかに補修するかまたは取り替えること。

別紙１

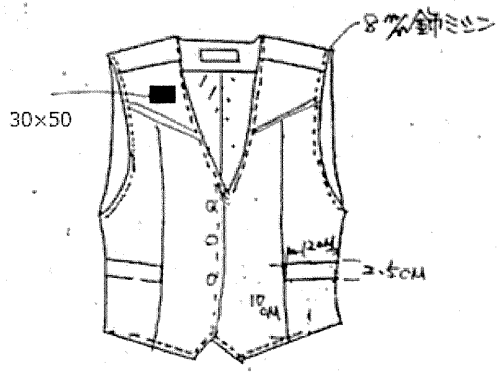
前面図



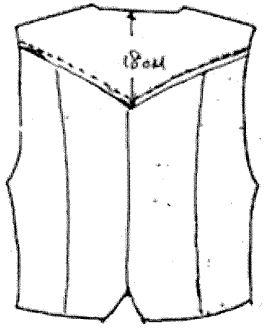

後面図



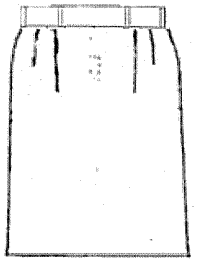

前面図




後面図

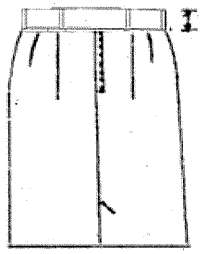



前面図



後面図

※ベルトループを付ける



# 消防団員用階級章仕様書

別紙２

福岡市消防局

１　概要

金属光沢のある人工皮革の表面に、予め適宜の模様を印刷し、加熱押圧して職務等を表す本体の裏面に、樹脂シートを介して雌雄一対の面ファスナーの一方（オス面）を貼着した人工皮革製バッジ。

２　標準規格（参考品）

ネオ階級章　※左記商品若しくは同等品以上とする。

３　加工材料

（１）人工皮革（ポリエステル６５％ ポリウレタン３５％）
（２）面ファスナー（マジックテープA面ゴム系粘着剤付き）
（３）ウレタンシート
（４）シルクスクリーン印刷（アルミニウム薄膜の両面をポリウレタンのフィルム層でコーティング）

４　製造方法（参考）

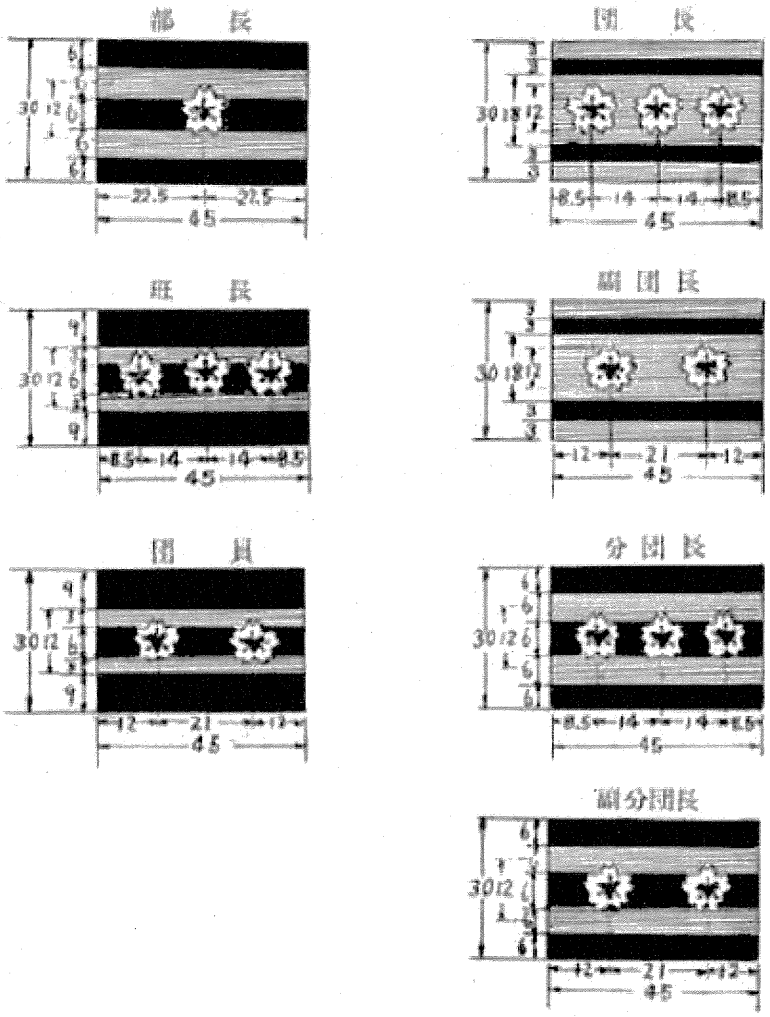
（１）人工皮革を約１０cm四方にカットし、その表面に階級を表す各模様のシルクスクリーン印刷を行う。
（２）印刷済みの人工皮革を、高周波成型機の下型（凹型）に表面（印刷面）が下方向を向くようにセットし、その人工皮革の裏面にウレタンシートを乗せる。
（３）予め高周波成型機に装着していた上型（凸型）を重ね、均一の圧力をかけ高周波を発生させ溶着成型を行う。
（４）この際、階級を表す模様と下型（凹型）のずれを防ぐため、下型（凹型）にズレ防止のジグを付けておき、それにあわせて人工皮革をセットする。
（５）成型済みの人工皮革は、各階級のサイズに合わせてトムソン刃にて打ち抜き加工を行う。その際、階級章の各辺に壁ができるように成型が上がっているので、その壁を崩さないように打ち抜きを行う。
（６）打ち抜きが終了次第、印刷汚れ、キズ、成型ズレ、打ち抜きズレ等の一品検査を行う。
（７）検査に合格した半製品の裏面に、階級章のサイズより縦横１㎜ずつ小さめにカットした面ファスナー（マジックテープA面ゴム系粘着剤付き）の履形紙を剥がし、貼り合わせる。その際、成型でできた階級章の各辺の壁の内側に面ファスナーを貼り合わせるようにし、面ファスナーが剥がれにくくする。
（８）完成した階級章を最終検査し、専用の小袋に入れる。

５　納品検査

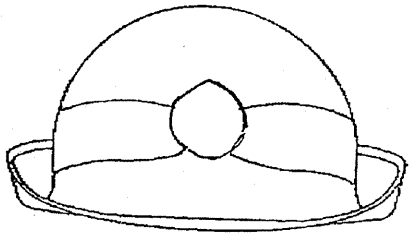
別途指示する方法による。

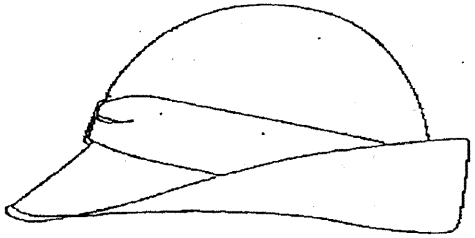
# 消防団員階級章

階級章



# 全般図

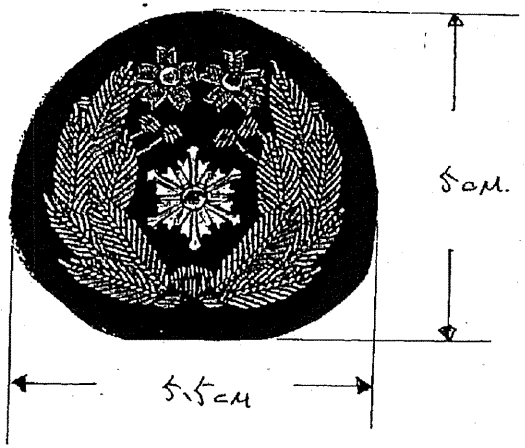




帽子寸法表

（単位ｃｍ）

| 号　型 | 頭回り（内寸） | 頭高さ（内寸） | 高さ（外寸） | 縦（外寸） | 横（外寸） | 前つば幅 | 後つば幅 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 特大 | 60 | 11.3 | 13.3 | 25 | 21.5 | 5.7 | 6 |
| 大 | 58 | 11 | 13 | 25 | 21.5 | 5.7 | 6 |
| 中 | 57 | 11 | 13 | 25 | 21.5 | 5.7 | 6 |
| 小 | 55 | 10.7 | 12.7 | 25 | 21.5 | 5.7 | 6 |
| 許容差 | ±0.3 | ±0.3 | ±0.3 | ±0.3 | ±0.3 | ±0.3 | ±0.3 |



# 女性団員用制服（スラックス）製作仕様書

福岡市消防局

この仕様書は、福岡市消防団女性消防団員が着用する制服（スラックス）の調製について定めることとし、本仕様書に関する質疑又は詳細については、福岡市消防局と協議し、その指示に従うこと。

なお、仕様書に記載なき事項といえども当然必要と認められるものは、良心的に実施すること。

## スラックス（アジャスター付）

### 1　生 地

ベネシャン（品番　２４９０２１）混紡率（ウール 70%、ポリエステル 30%）

色は紺色(C/#　１８))とし、契約後は速やかに、当局の指定色どおりに染めた生地見本(製品化したもの)を提示し、必ず当局の係員の承認を得ることとする。

### 2　縫製仕様

(1) ポケット（両脇、後ろ） 両脇 底二度縫い、ロック始末、向こう布（表地)、袋布（裏地）
(2) ベルト通し 1cm 巾、共布、タテ地×5 本
(3) 身頃仕立 膝裏
(4) 裾仕立 ふらし
(5) 裾始末 ロック始末、ルイス仕立て、糸ループを左右につけること
(6) 釦ホール 18mm×2
(7) ファスナー 片返し、18cm エフロンファスナー（色番 058）
(8) 地縫い糸 ポリエステル 100%、生地と同色、ステッチ糸（コバステッチ）
(9) スレキ 綿 100%（5000、色番 38）
(10) ベルト芯 30mm、黒
(11) アジャスター
　① 材質
　　ボディ及びレール：ナイロン
　　スライド部：ポリアセタール樹脂
　② 引張最低基準強度
　　65N（6.6 kg f）以上
　③ 製品厚さ
　　6.5ｍｍ以下
　④ 取付
　　各サイズのズボンにアジャスターを取り付けること
　　可動の範囲は左右±2.5ｃｍ以上とする。
　　※参考品：ＹＫＫ「パーマロック」

製作方法

(1)採寸　　各人採寸（着せ付け採寸も可）

(2)仕立て　寸法に合わせて仕立て

製作工程表

契約後、速やかに製作工程表を提出し、係員の承認を得ること。ただし、係員の指示により省略することができる。

検査

1　中間検査

試作品を提出し検査を受けること。その際、繊維会社、特約店等の出荷証明書を提出すること。

2　納品検査

別途指示する方法による。

納品

1着ごとに袋に入れ、見やすい場所に着用者の氏名・サイズを明記し、係員の指示に従い所属別に納品すること。

不良品の処置

納品後といえども、地質、制式、縫製及び寸法等に不備又は相違があるときは、各署所へ出張の上速やかに補修するか、又は取り替えること。

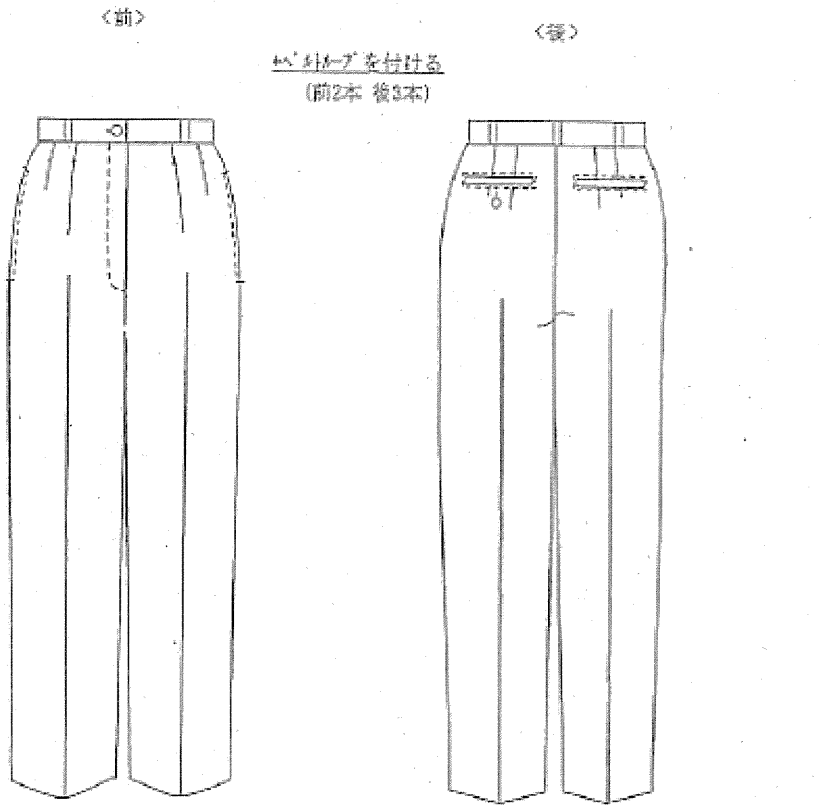
その他

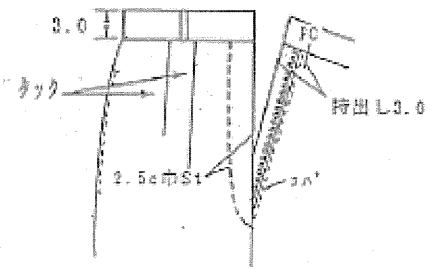
1　本仕様書の疑義及び詳細については、事前に当局の係員と協議するものとし、その指示に従うこと。

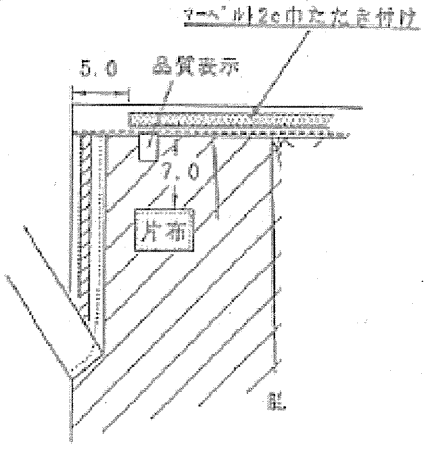
2　スラックスには、支給年度、号数、所属、氏名欄を明記した片布を所定の場所へ縫い付け、号数の欄には必ずサイズを記入すること。

(単位：cm)

# スラックス


〈前〉
〈後〉
ﾍﾞﾙﾄﾙｰﾌﾟを付ける
(前2本 後3本)


3.0
ﾀｯｸ
FC
持出し3.0
2.5cm巾St
ｺﾊﾞ


ﾏｰﾍﾞﾙ12cm巾たたき付け
5.0
品質表示
7.0
片布
肌

# 女性団員用制服（スラックス）被服基準寸法表

上がりサイズ及び号数表

（単位：ｃｍ）

| 号数 | ウエスト | ヒップ | 股　上 | ワタリ巾 | すそ巾 | 号数 | 股下 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 61 | 96 | 25 | 30 | 19 | A | 65 |
| 2 | 67 | 102 | 26 | 32 | 20 | B | 68 |
| 3 | 73 | 108 | 27 | 34 | 21 | C | 71 |
| 4 | 79 | 114 | 28 | 37 | 22 | D | 74 |
| 5 | 85 | 120 | 29 | 38 | 23 | E | 77 |

（パンツ丈及びウエストはプラス、マイナス可能）

（注文例）

7A　→　ウエスト（61）－　股下（65）

23D　→　ウエスト（85）－　股下（74）

# 消防団員用制服　革ベルト仕様書

福 岡 市 消 防 局

この仕様書は、福岡市消防局（以下「当局」という。）において購入する制服用革ベルトについて必要な事項を定める。

なお、本仕様書の疑義及び詳細については、事前に当局の係員と協議するものとし、その指示に従うこと。

1　ベルト部

材　質：　表面　本皮製

裏面　ポリ塩化ビニール

寸　法：　（標準）３．０ｍｍ×３０ｍｍ（厚さ×幅）

先端部は半円形とする。

2　バックル部

材　質：　本体　亜鉛ダイキャスト

署マーク　真鍮材（銅・亜鉛の合金）

メッキ：　本体　ニッケルメッキ

署マーク　金メッキ

3　アジャスター部

（標準）直径３．０ｍｍ、２５ｍｍ間隔で３個とする。

4　色　相

表面、裏面とも黒色とする。

5　寸　法

並尺は１００ｃｍ、長尺は１２０ｃｍ、特寸は１５０cmとすること。

6　その他

ベルトとバックル部は着脱可能、かつ切断調整のできるものとする。

（別図参照）

7　検　査

(1)　中間検査

試作品を提出し検査を受けること。その際、繊維会社、特約店等の出荷証明書を提出すること。

(2)　納品検査

別途指示する方法による。

8　納　品

１本ごとに箱に入れ、見やすい場所に着用者の氏名・サイズを明記し、係員の指示に従い所属別に納品すること。

9　不良品の処置

納品後といえども、地質、制式、縫製及び寸法等に不備又は相違があるときは、各署所へ出張の上速やかに補修するか、又は取り替えること。

別　図

